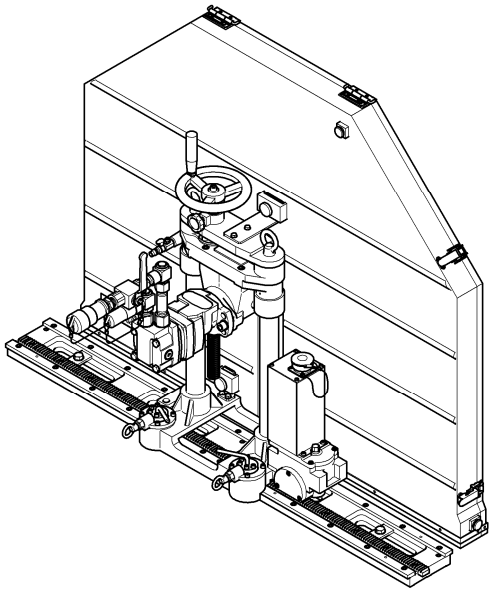
Hakken

ダイヤモンドウォールカッター
ＣＨＷ－５０Ａ

取 扱 説 明 書



◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。

◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全に使用してください。

◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないよう規制値以下で使用するため、状況に応じて遮音壁を設けてください。

注意文の「⚠警告」・「⚠注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」・「⚠注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：　誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意　：　誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント　：　製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中では、下表の通り正式名称を略称で記述しています。（ただし、説明上必要な箇所は正式名称で記述しています。）

正式名称	略称
ダイヤモンドウォールカッター	ウォールカッター
ダイヤモンドブレード	ブレード
ダイヤモンドチップ	チップ
フラットフェイス（FF）カプラー	FFカプラー

目 次

１．警告および注意
【１】油圧機器の安全上のご注意 …… ２
【２】ウォールカッターの使用上のご注意 …… ４
２．各部の名称 …… ７
３．仕 様 …… ８
４．標準付属品 …… ８
５．用 途 …… ９
６．オプション品（別売） …… ９
７．使用時全体図および仕様
【１】ＣＨＷ－５０Ａ 完成外観図 …… １３
【２】ＣＨＷ－５０Ａ 標準仕様図（Ｅ－２０１２Ａ ｅｃｏ$^{+}$） …… １５
【３】油圧ユニットの違いによるブレードの最高回転速度[min^{-1}] …… １５
【４】二条切アタッチメント取付（ブレード半カバー）仕様 …… １６
【５】際切り用ブレード受け取付仕様 …… １７
【６】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数５０Ｈｚ地域 …… １８
【７】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数６０Ｈｚ地域 …… １８
８．自動送り装置 ＢＥ－３２Ａ Ｐｒｏ（オプション品）のパネル面 …… １９
９．使用方法
【１】油圧ユニット Ｅ－２０１２Ａ ｅｃｏ$^{+}$の準備 …… ２０
【２】トラックレール取付け用のアンカー施工 …… ２４
【３】ウォールカッターの取付け …… ２５
【４】トラックレールストッパＬＡの取付け …… ２６
【５】ブレードの取付け …… ２６
【６】自動送り装置 ＢＥ－３２Ａ Ｐｒｏの接続 …… ２６
【７】トラックレールの連結 …… ２７
【８】ブレードカバーの取付け …… ２８
【９】給水の準備 …… ２８
【10】飛散水の処理対策 …… ２９
【11】切断作業 …… ２９
【12】取りはずし作業 …… ３３
10. ウォールカッターの分離・組付け方法
【１】ウォールカッターの分離方法 …… ３４
【２】ウォールカッターの組付け方法 …… ３４
11. フィード部の位置変更方法 …… ３５
12. ブレードの取付け・取りはずし
【１】ブレードの取付け …… ３５
【２】ブレードの取りはずし …… ３５
13. 作業中のトラブルと対策
【１】作業中のトラブルと対策方法 …… ３６
【２】ブレードがロックした場合の解決方法例 …… ３７
14. 油圧モータ組の取付け …… ３８
15. 点検・保守・修理
【１】作業前点検 …… ３８
【２】定期点検 …… ３８
【３】保 守 …… ３９
【４】修理について …… ３９
16. 製品の保管 …… ３９

１．警告および注意

◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。

◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「油圧機器の安全上のご注意」「ウォールカッターの使用上のご注意」を必ず守ってください。

◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

【1】油圧機器の安全上のご注意

⚠ 警　告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。

2. 作業者以外は施工場所へ近づけないでください。
   ◎ 作業者以外は油圧ユニット・油圧機器・操作盤類やケーブル・ホースには、触れさせないでください。

3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
   ◎ 油圧ユニット・操作盤類などの電気機器は、雨中で使用したり、湿った場所やぬれた場所で使用しないでください。
   ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
   ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
   ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。

4. 安全保護具を使用してください。
   ◎ 作業時は、保護めがねを着用してください。
   ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
   ◎ 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
   ◎ 耳せん、耳覆い（イヤーマフ）などの防音用保護具を着用してください。

5. 作業に適した服装をしてください。
   ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ◎ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
   ◎ 各機器を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
   ◎ 回転物には手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
   ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
   ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

⚠ 警　告

8. 感電に注意してください。

◎ 油圧ユニットは必ず接地(アース)してください。

◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。

◎ 漏電による感電事故を防止するために、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。

9. ケーブルやホースを乱暴に扱わないでください。

◎ ケーブルやホースを持って機器を運ばないでください。

◎ ケーブルを引張って電源から抜かないでください。

◎ ケーブルやホースを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。

◎ 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

11. 損傷した部品がないか点検してください。

◎ 使用前に、カバー・ケーブル・ホースやその他の部品に損傷がないかしっかりと点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。

◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないか確認してください。

◎ 損傷・故障した部品の交換や修理は、取扱説明書の指示にしたがってください。

◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはコンセック各営業所に修理を依頼してください。

◎ スイッチで始動および停止操作のできない機器は、使用しないでください。

◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店またはコンセック各営業所で修理を行ってください。

12. 次の場合は油圧ユニットを停止してください。

◎ 油圧ホース組の接続、取りはずしを行う場合。

◎ 刃物などの付属品を交換する場合。

◎ 使用しないまたは修理する場合。

◎ 使用中に油圧ユニットから異音がした場合。

◎ その他危険が予想される場合。

13. 器具や工具などは、必ず取りはずしてください。

◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. 各機器は注意深く手入れをしてください。

◎ 給油や付属品の交換は、取扱説明書にしたがってください。

◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15. きちんと保管してください。

◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所または錠のかかる所に保管してください。

⚠ 警　告
16. 各機器の修理は専門店に依頼してください。 ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。 ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。 ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店またはコンセック各営業所にお申し付けください。

【2】ウォールカッターの使用上のご注意

⚠ 警　告
1. 油圧ユニットは、当社オプション品の油圧ユニットを使用してください。 ◎ 油圧ユニットの取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって安全にご使用ください。 2. 電線管・ガス管・水道管などの埋設物に注意してください。 ◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。 ◎ 壁・床などの切断を行う場合は、埋設物のチェックをしっかりと行ってください。 3. 上向きの切断はしないでください。（乾式ウォールソーイングシステムを除く） ◎ 湿式切断時は水を使用します。上向きの切断をすると、水がブレードカバー内部に溜まり、落下する恐れがあり、非常に危険です。 4. 水が飛散する場合は、飛散水防止対策を行ってください。 ◎ 切断作業中に、フィードモータに水が飛散する場合は、ただちに作業を中止して飛散水防止対策を行ってください。 5. 貫通側の安全面に注意してください。 ◎ ブレード貫通側は大変危険です。また、切削水が飛散することがありますので、人や物に当たらないように、防護対策や処理方法を確実に行い、作業を始めてください。 6. 高所での作業は関係法令にしたがって作業してください。 ◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。 ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりとした足場を確保してください。 ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。 7. ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。 ◎ 本製品は水を使用しますので、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。 8. トラックレールは、しっかりと固定してください。 ◎ 正しく固定することは非常に重要です。固定がきちんと行われないと、切断中にガタ付いたり、かみこむなどで、ウォールカッターおよびブレードが損傷する恐れがあります。 9. ウォールカッターの脱落に注意してください。 ◎ ウォールカッターの旋回レバーが閉方向に正しく固定されていないと、ウォールカッターのローラがトラックレールのプレートからはずれ、ウォールカッターが脱落する恐れがあり大変危険です。 ◎ トラックレールの端面まで走行させるなど、ウォールカッターのフィードギヤとトラックレールのラックのかみあいがはずれた場合は、ウォールカッターが落下または転倒する恐れがあり大変危険です。

⚠ 警　告

10. ブレードカバーは必ず使用してください。

◎ 水の飛散防止、ブレードの破損によるけがの防止および巻き込まれ防止のためにも必ずブレードカバーは使用してください。

11. ブレードカバーをはずした状態で、ブレードを回転させないでください。

◎ 回転中のブレードやブレード押さえには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。

12. 異常時には、ただちにブレードの回転を止めてください。

◎ 使用中にブレードが止まったり、異音がした時は、ただちに油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押し、ブレードの回転を止めてください。

13. 壁・床面の切断コンクリート片の落下、倒れなどに注意してください。

◎ 壁・床面への開口部新設工事では、切断されたコンクリート片の落下や倒れがないようチェーンブロックにて固定するなど、安全対策をしっかりと講じたうえで施工してください。

14. ボールバルブの開閉はゆっくりと行ってください。

◎ ブレードの回転中にボールバルブを急に閉じると、反動でブレード押さえがゆるみ、ブレードがはずれる恐れがあり大変危険です。

15. 切断作業時以外は、油圧ユニットを停止させてください。

◎ 油圧モータが不意に始動しないよう、切断作業時以外は、油圧ユニットを停止させてください。

⚠ 注 意

1. 無理して使用しないでください。

◎ 安全に能率よく作業するために、機器の能力に合った仕様で作業してください。

2. 施工場所へは、トラックレールを最初に設置した後、ウォールカッターをトラックレールに取付けてください。

◎ 壁面を水平方向に切断する場合は、油圧モータが上側、ブレードが下側になるようにトラックレールを設置してください。

3. トラックレールのレベル調整をしてください。

◎ 六角棒レンチ（5mm）を使って、トラックレールの六角穴付止ねじ（1200LAの場合　10箇所）を上下させてトラックレールが歪まないようレベル調整してください。またトラックレールを2本以上連結させる場合は、つなぎ目がずれたり離れたりしないように、レベル調整をしてください。

4. ダイヤモンドブレードを使用してください。

◎ 本製品はダイヤモンドブレードを使うように設計されています。ダイヤモンドブレード以外の刃物は使わないでください。

5. 湿式切断時は必ず給水を行ってください。

◎ ブレードは過熱すると、寿命が短くなり切断能率も低下しますので、必ず給水を行ってください。

◎ 清水以外の水を使用すると、ウォールカッターなどの故障の原因となります。必ず清水を使用してください。

⚠ 注 意

6. ブレードが切断面に接した状態で、ブレードを回転させないでください。

◎ ブレードや、ウォールカッターの破損の恐れがあります。

7. 切断作業は回転が上がってから行ってください。

◎ 切断作業は、ブレードの回転が完全に上がってから行ってください。

8. 無理な切込みはしないでください。

◎ 一度の切込み深さを大きくしますと、機械への負担が大きくなるばかりでなく、切断速度も遅くなります。

9. 切断は、できるだけ順方向切断（アッパーカット）で行ってください。

◎ 逆方向切断（ダウンカット）では、ブレードの回転により、ウォールカッターを送り方向に進めようとする力が働き、走行が安定せず、切断能率が低下することがあります。

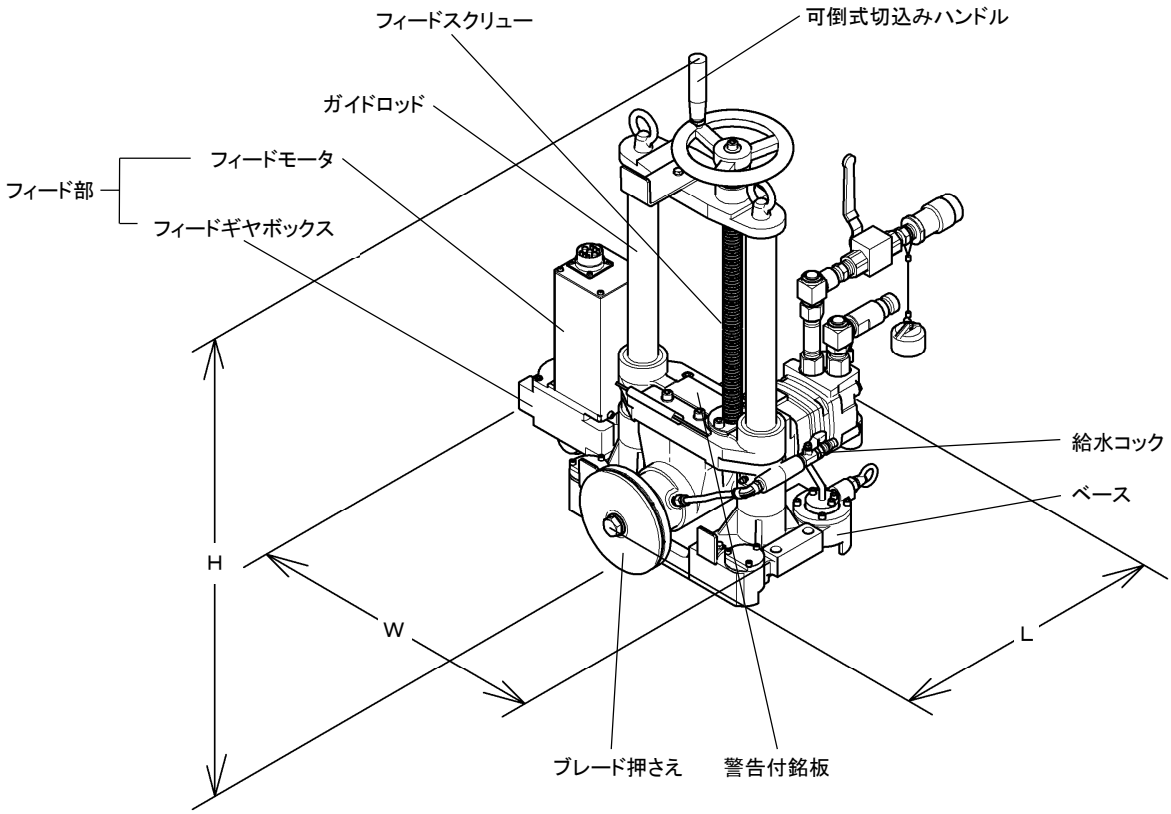
10. 切断途中でブレードの回転を止めたり、ブレードをロックさせないでください。

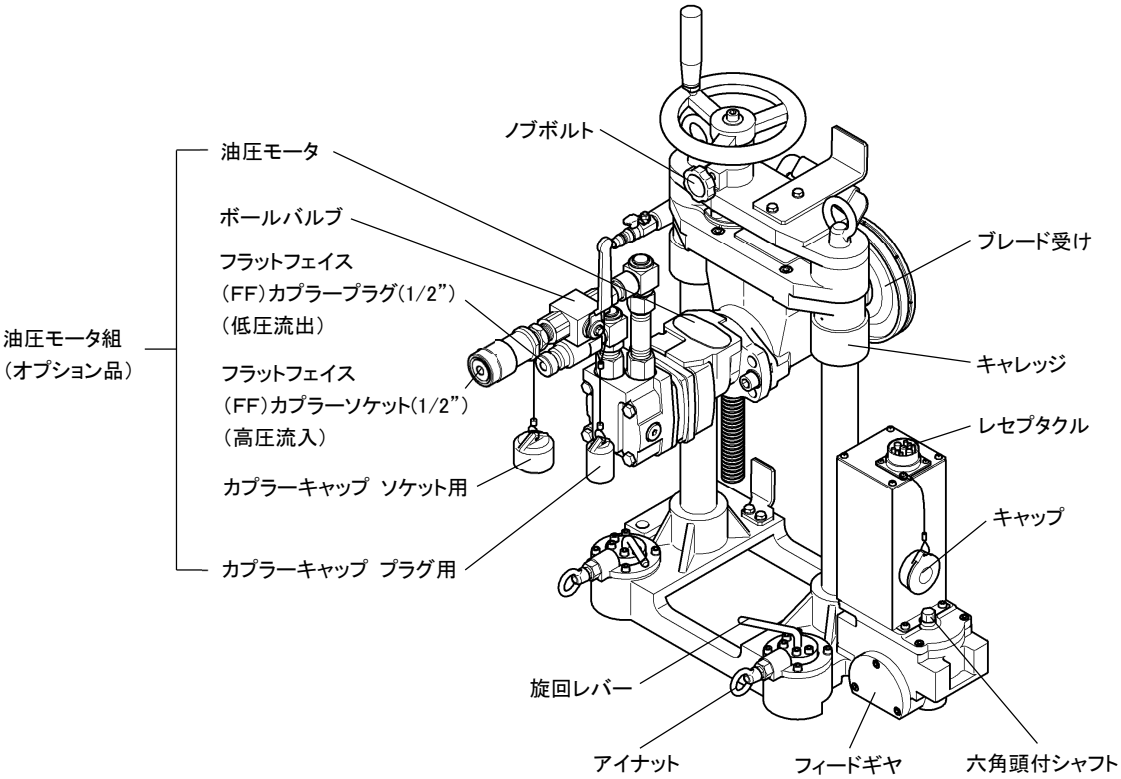
◎ ブレードの刃先や、ウォールカッターの破損の恐れがあります。

11. ウォールカッターに取付けたブレードを手でまわさないでください。

◎ 油圧回路を遮断した状態でブレードまたはブレード受けを手でまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

2．各部の名称

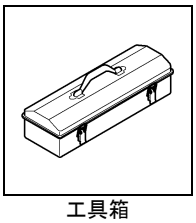

フィードスクリュー
可倒式切込みハンドル
ガイドロッド
フィード部
フィードモータ
フィードギヤボックス
給水コック
ベース
H
W
L
ブレード押さえ
警告付銘板

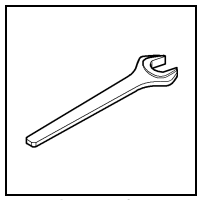

ノブボルト
油圧モータ
ボールバルブ
フラットフェイス
(FF)カプラープラグ(1/2")
(低圧流出)
油圧モータ組
(オプション品)
フラットフェイス
(FF)カプラーソケット(1/2")
(高圧流入)
カプラーキャップ ソケット用
カプラーキャップ プラグ用
ブレード受け
キャレッジ
レセプタクル
キャップ
旋回レバー
アイナット
フィードギヤ
六角頭付シャフト

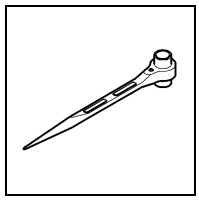
3. 仕 様

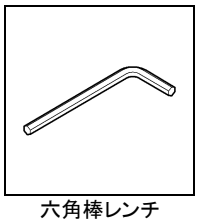
型式名		CHW－50A			
油圧モータ型式名		2060－12A	HB05－16A	HB08－24A	A125－600A
押しのけ容量［cc/rev］		64	89	127	123
最大回転速度［min^{-1}］		850	898	746	772
最大流量［L/min］		54	79	95	
定格トルク［daN・m］		19	24	34	36．5
定格圧力［MPa］		21			
適用ブレード径	mm	782	1036	1240	
	インチ	30	40	48	
ブレード穴径［mm］		35			
最大切込み深さ（新品ブレード取付時）［mm］	782mm（30”）	301			
	1036mm（40”）	－	428		
	1240mm（48”）	－		530	
定格送り速度［mm/min］		632			
定格送り推力［N］		1785			
質量［kg］		28			
W ［mm］		484			
L ［mm］		410	434	440	422
H ［mm］		755（ハンドル折り曲げ時：682）			
質量（油圧モータ組を含む）［kg］		40	41	41．5	41

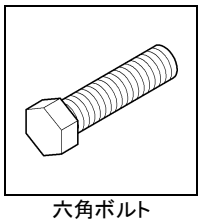
4. 標準付属品

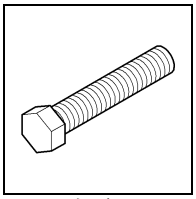

工具箱
Y－455
・・・1ヶ

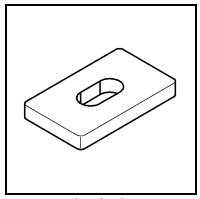

片口スパナ
24mm
・・・1ヶ

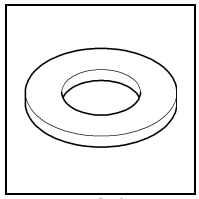

ラチェットレンチ
14×17mm
・・・1ヶ

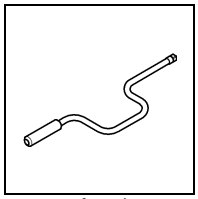

六角棒レンチ
5・6mm
・・・各1ヶ

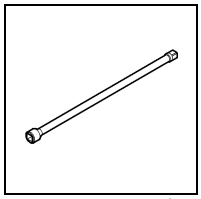

六角ボルト
W3／8×38mm
・・・8ヶ

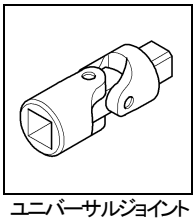

六角ボルト
W3／8×50mm
・・・8ヶ

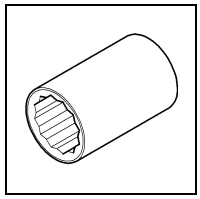

角座金
W3／8×50×30×t6
・・・8ヶ

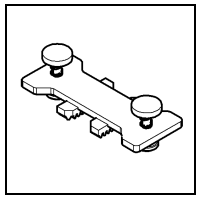

平座金
W3／8
・・・8ヶ


スピーダー
204
・・・1ヶ


エクステンションバー
307
・・・1ヶ


ユニバーサルジョイント
UJ30
・・・1ヶ


ソケット
3D－13
・・・1ヶ


トラックレール
ストッパ LA
・・・1ヶ

取扱説明書
・・・1ヶ

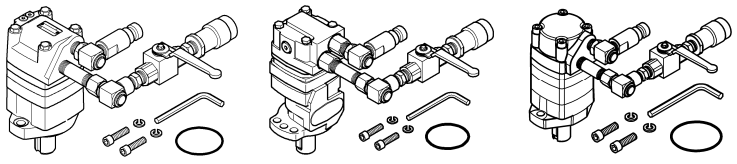
5. 用 途

◎ 鉄筋コンクリート構造物の床面、および壁面（平面であること）の切断。

【例】鉄筋コンクリート構造物の開口部の製作。

6. オプション品（別売）

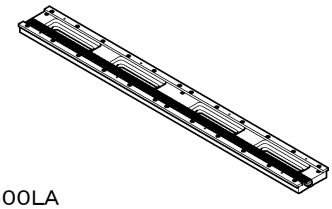
油圧モータ組



2060－12A　HB05－16A　A125－600A

必要な能力に応じて選択可能な油圧モータです。

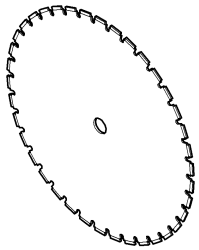
トラックレール



600LA
1200LA
1800LA

専用トラックレールで長さは、600L，1200L，1800Lの3種類があります。

ダイヤモンド
ブレード（消音）

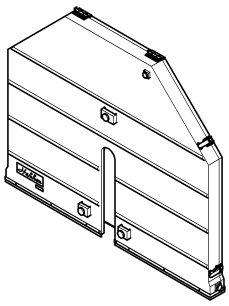


ウォールカッター用ブレードで、セグメントタイプです。

専用ダイヤモンドブレード			
呼径	チップ先端外径［mm］	チップ寸法［mm］	軸径［mm］
22”	578	W4．5×H10．0	50．8（注1）
24”	630	W4．5×H10．0	
26”	680	W5．0×H10．0	35
30”	782	W5．0×H10．0	
40”	1036	W4．5×H10．0	
48”	1240	W4．5×H10．0	

（注1）22”，24”は二条切用ブレードと兼用のため、軸径が異なっています。二条切用ブレードに標準付属されている「リング φ35－φ50.8」とあわせてご使用ください。

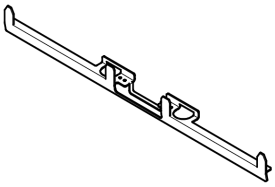
ブレードカバー



30A
40A
48A

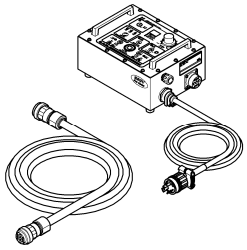
専用ブレードカバーで、サイズは、30”40”，48”用があります。

クワッドブラケット 48A



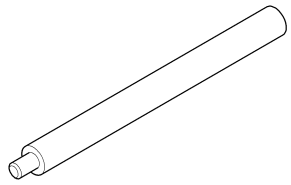
ブレードカバー48”を使用する際に本体に取付ける専用ブラケットです。

自動送り装置 BE－32A Pro



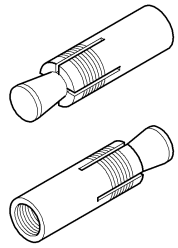
CHW－50Aと接続し、切断時のコントロールを行います。

打込みホルダー
W3／8



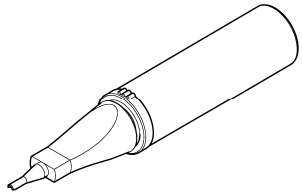
カットアンカーを打込む時に使用します。

カットアンカー
W3／8



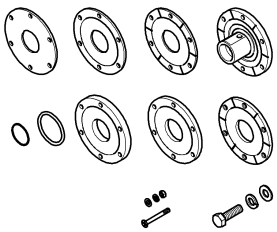
コンクリートなどに施工して、トラックレールを固定します。

ピストンブロワー



アンカー穴の切り粉を除去する時に使用します。

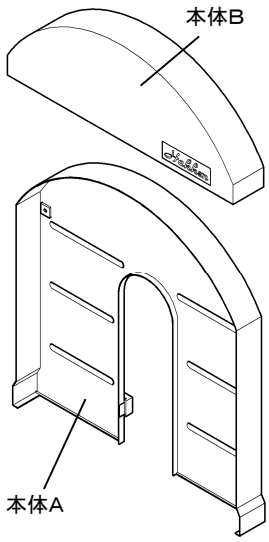
CDW二条切フランジセット



名　称	規格・寸法	個数
ブレード受け	―	1
スペーサ	3mm黒	1
	5mm	2
	5mm溝	2
	7．5mm溝	1
	10mm	1
	15mm	1
Oリング	P－65	1
	S－46	1
六角ボルト（11T）	M16×55	1
ばね座金	16	1
平座金	16	1
皿ボルト	M8×70	6
ばね座金	8	6
平座金	8	6
六角ナット	M8	6
取扱説明書	―	1

二条切りや、壁際切断の時、標準のブレード受けを組替えて使用します。

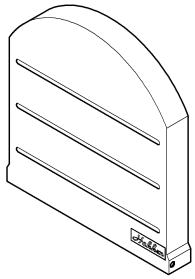
二条切ブレード半カバー



24A
26A
31A
40A

二条切りや、壁際切断の時に使用します。サイズは、24”，26”，31”，40”があります。

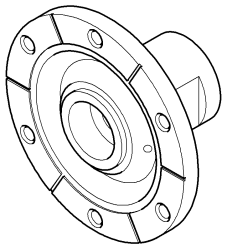
二条切ブレード全カバー



22A
24A
26A
31A
40A

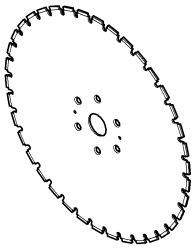
二条切りの時に使用します。サイズは、22”，24”，26”，31”，40“があります。

際切り用ブレード受け



際切り切断の時に、使用します。

二条切用ブレード（消音）

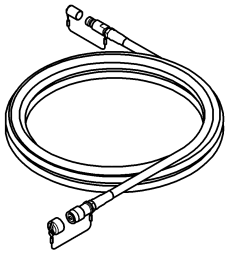


二条切用で消音タイプのブレードです。

二条切用ブレード（消音）			
呼　径	外径[mm]（注2）	チップ寸法[mm]	軸径[mm]
22”	578	W4．5×H10．0	50．8
24”	630		
26”	680		
30”	782		

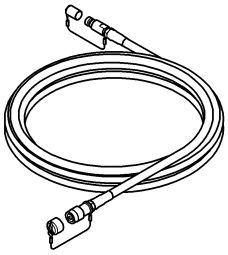
（注2）外径は、ダイヤモンドチップ先端の外径です。

油圧ホース 5／8”組 20m eco+
（生分解性作動油入り）



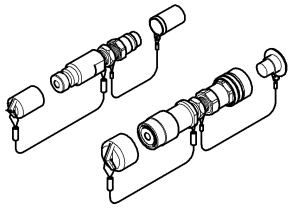
油圧ユニットの延長用油圧ホースです。2本必要です。
（生分解性作動油が入っています。）

油圧ホース 5／8”組
FFプラグ－ソケット 20m



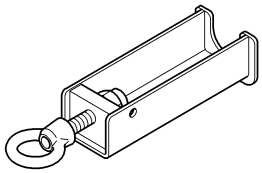
油圧ユニットの延長用油圧ホースです。2本必要です。
（油圧作動油は入っていません。）

変換アダプタ
（Bメス－Fメス 1／2”）
（Bオス－Fオス 1／2”）



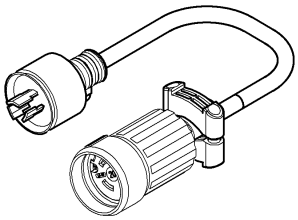
BSカプラー（ブリヂストン製）とFFカプラー(日東工器製)の変換に使用します。

油圧ホース圧抜き工具



内圧の上がったホース組のカプラーを開き、圧力を抜きます。FFカプラー（日東工器製）1／2”専用です。

変換アダプタ組



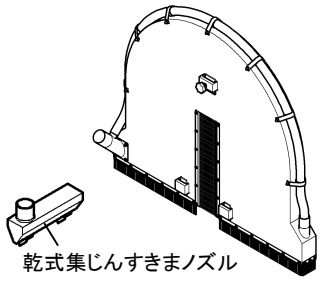
油圧ユニット E－2012 eco^{+}から電源を取る時に使用する変換アダプタ組です。

ポイント

本製品には、FFカプラー（日東工器製）が取付けられていますので、当社のBSカプラー（ブリヂストン製）仕様の油圧ホースを使用する場合には変換アダプタが必要です。
「Bメス—Fメス」と「Bオス—Fオス」1組で使用してください。

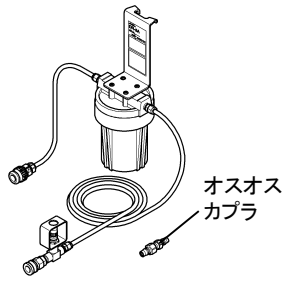
◎ 乾式ウォールソーイングシステム専用オプション品です。
使用方法は「乾式ウォールソーイングシステム」の取扱説明書をお読みください。

乾式ブレードカバー 30AD



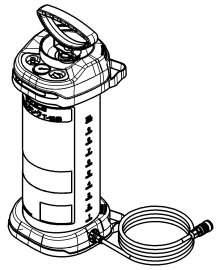
乾式ウォールソーイングシステム専用で、サイズは30”用です。
（付属の乾式集じんすきまノズルは縦方向の切断などの時に、切断溝に差し込んで使用します。）

乾式給水レギュレータ組 DR－5A



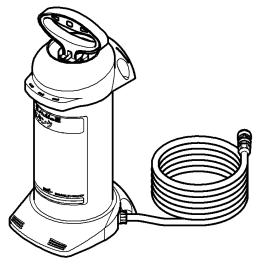
給水タンクT－13Bに取付けて、水のろ過および水量調整に使用します。

給水タンク T－13B



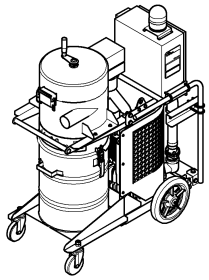
タンク容量は13リットルで、給水量は10リットルです。

給水タンク T－6A



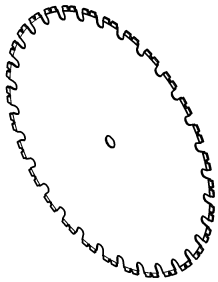
タンク容量は6．9リットルと軽量な樹脂製給水タンクです。

集じん機 Vi－0752B



切断時の切り粉を外に漏らさず集じんします。乾湿両用の集じん機です。

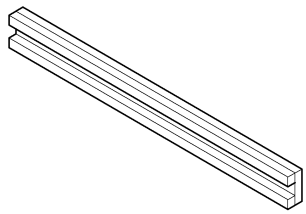
乾式消音ブレード



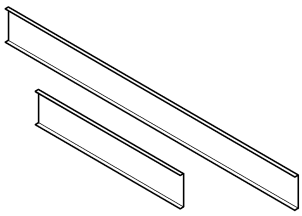
乾式ウォールソーイングシステム専用のブレードです。

乾式消音ブレード			
呼径	チップ先端外径[mm]	チップ寸法[mm]	穴径[mm]
18”	467	W4．5×H12．0	35
22”	569	W4．5×H12．0	
26”	673	W4．5×H12．0	
30”	782	W4．5×H12．0	

ワイヤーガード



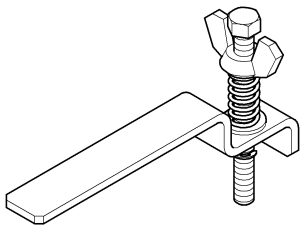
スポンジ 1000



平面用押え板 500・1000

スポンジと押え板を併せて使用します。

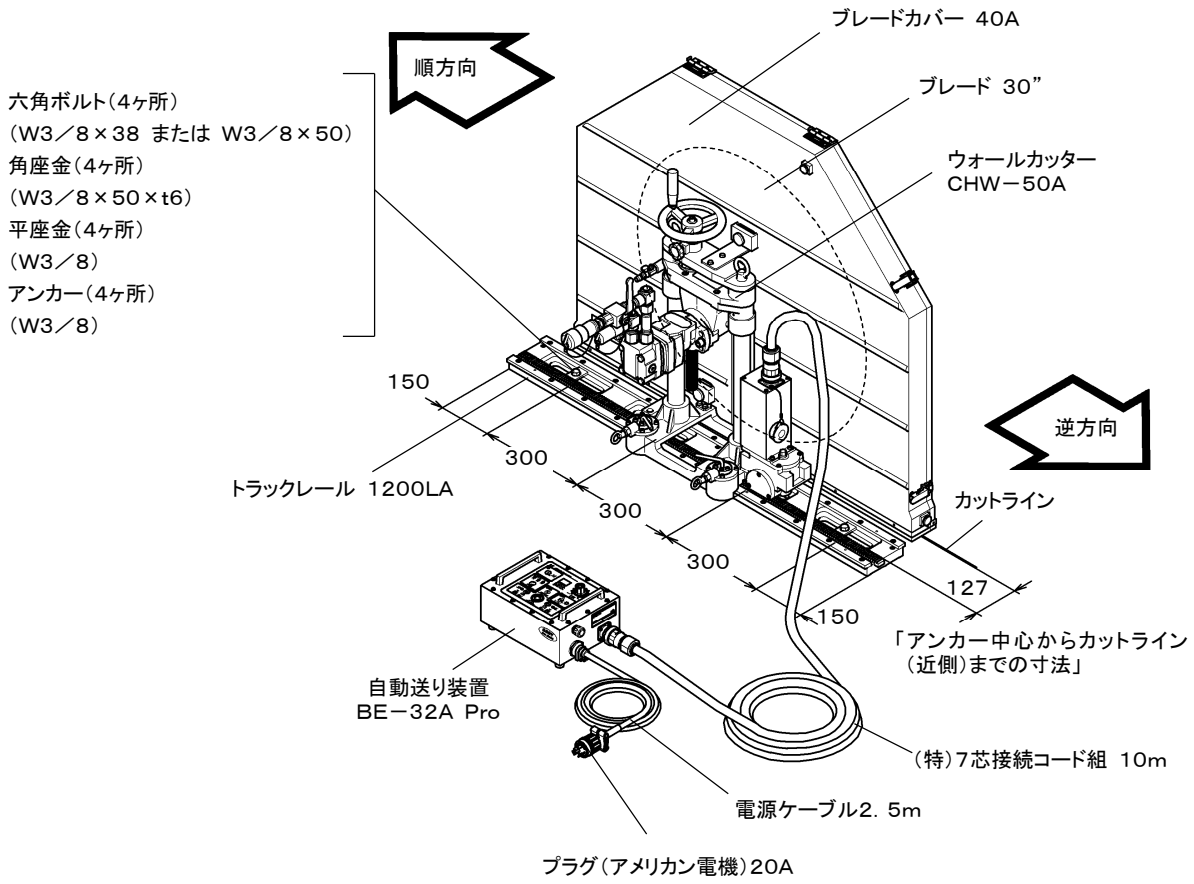
ワイヤーガード押さえ金具



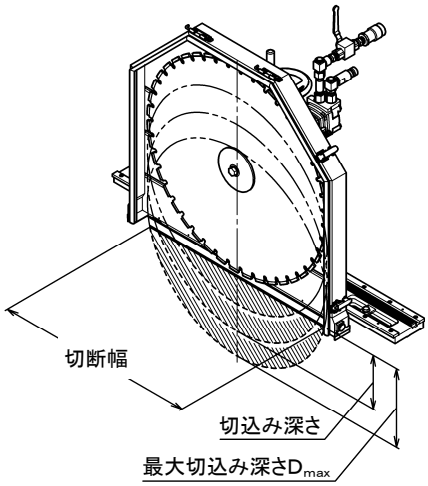
ワイヤーガードをワンタッチで固定することができます。

7．使用時全体図および仕様

【1】CHW－50A 完成外観図



ブレード径の違いによる切込み深さと切断幅の関係

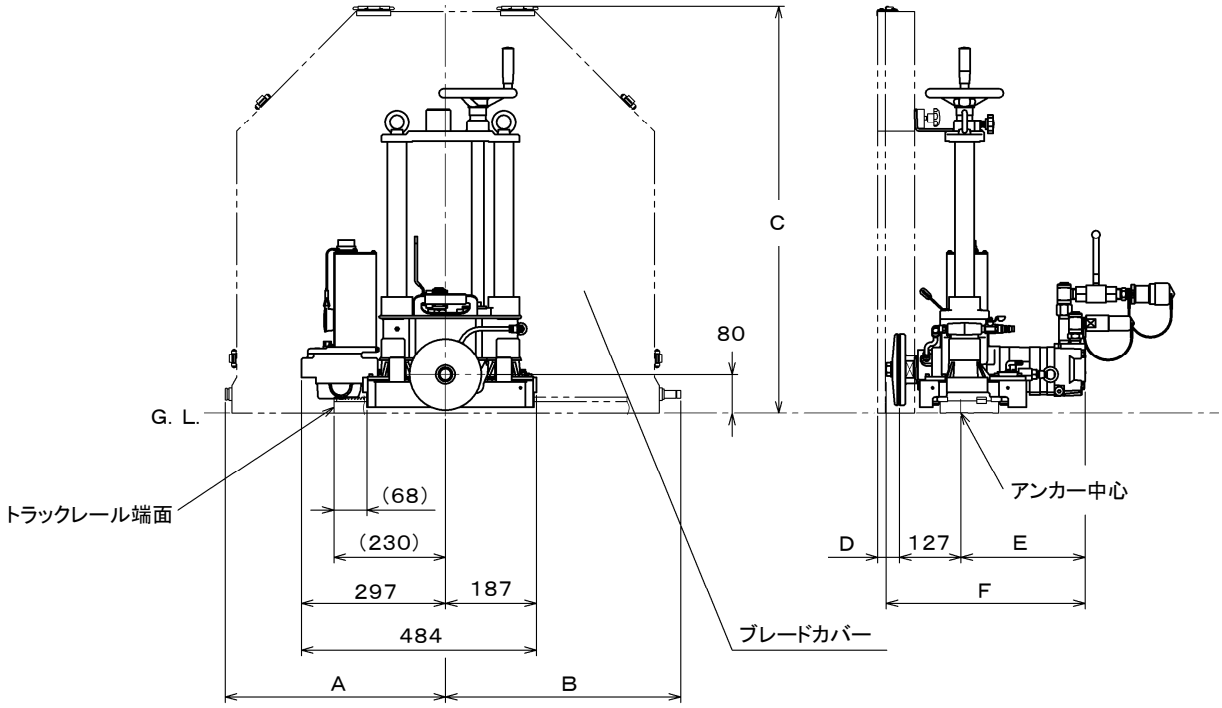


切断幅［mm］

ブレード		切込み深さ［mm］					
呼径	外径［mm］	100	200	300	400	500	D_{max}
22”	578	437	－	－	－	－	549（D_{max}＝199）
24”	630	460	587	－	－	－	604（D_{max}＝225）
26”	680	482	620	－	－	－	656（D_{max}＝250）
30”	782	522	682	760	－	－	761（D_{max}＝301）
40”	1036	－（注1）	818	940	1009	－	1020（D_{max}＝428）
48”	1240	－（注2）	－（注2）	1062	1159	1217	1227（D_{max}＝530）

（注1） 40”のブレードを取り付ける場合は、事前に30”以下のブレードを使用して幅635mm以上、深さ109mm以上先行切断（ステップ切り）する必要があります。

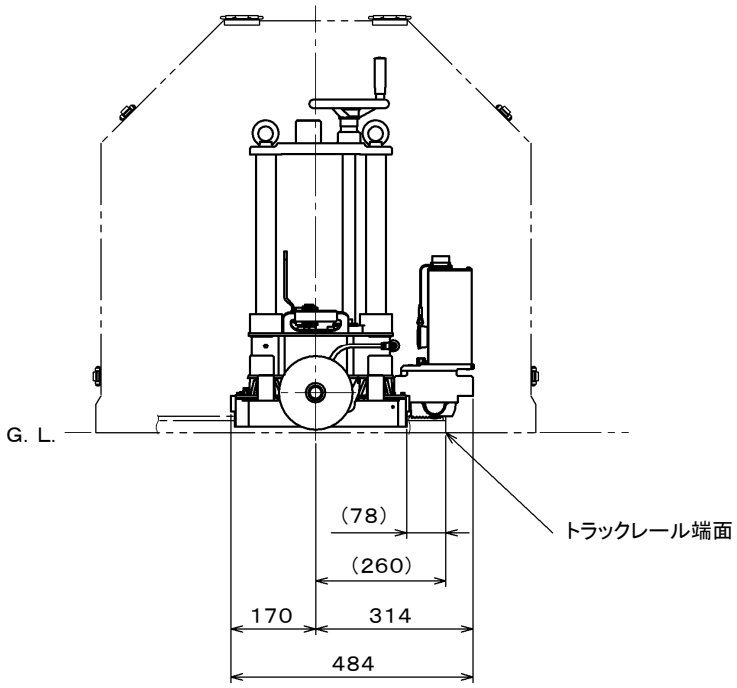
（注2） 48”のブレードを取り付ける場合は、事前に30”以下のブレーカを使用して幅932mm以上、深さ211mm以上先行切断（ステップ切り）する必要があります。



標準仕様

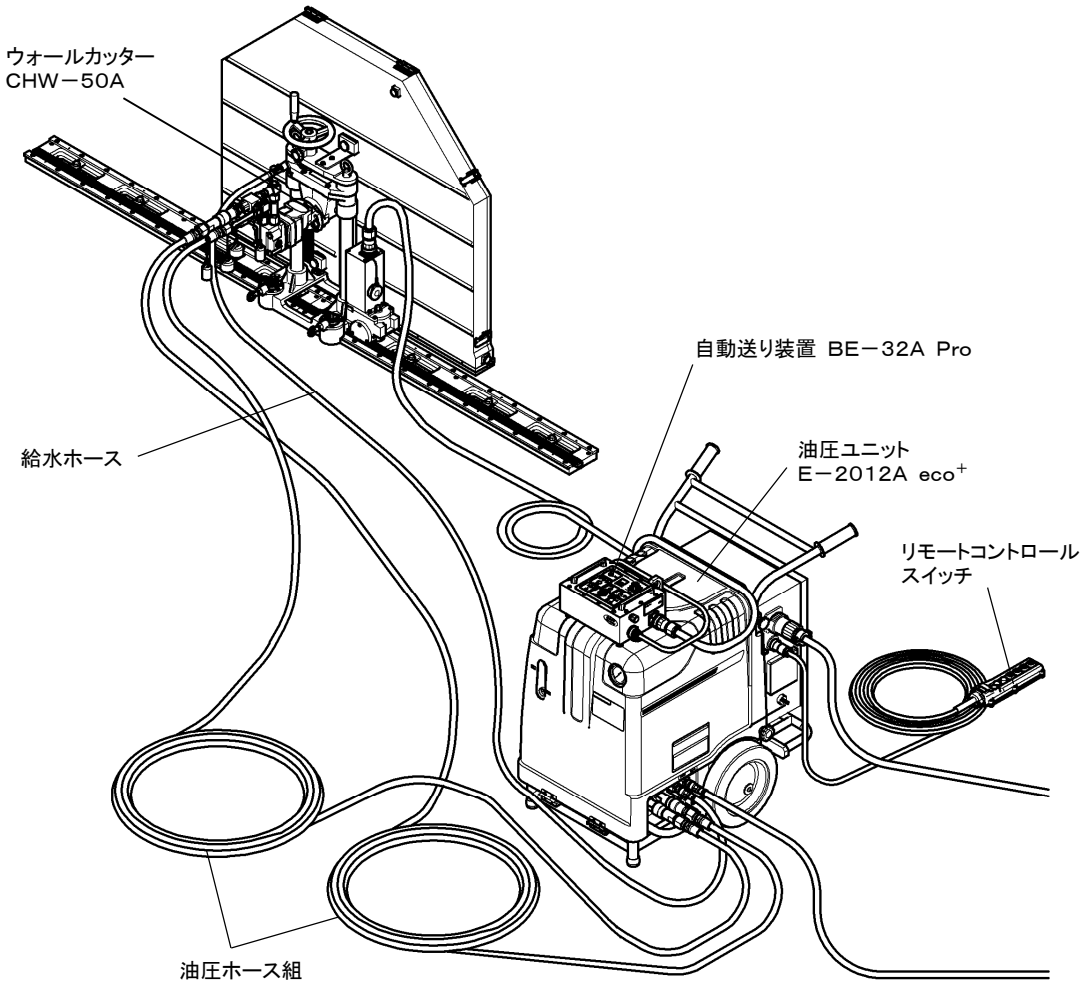
ブレードカバー型式名	A	B	C	D
30A	454	484	837	45
40A	580	610	963	45
48A	671	701	1075	62

油圧モータ組型式名	E	F
2060－12A	256	410
HB05－16A	280	434
HB08－24A	286	440
A125－600A	268	422



フィード部の位置を変更した場合

【2】CHW－50A 標準仕様図（E－2012A eco^{+}）

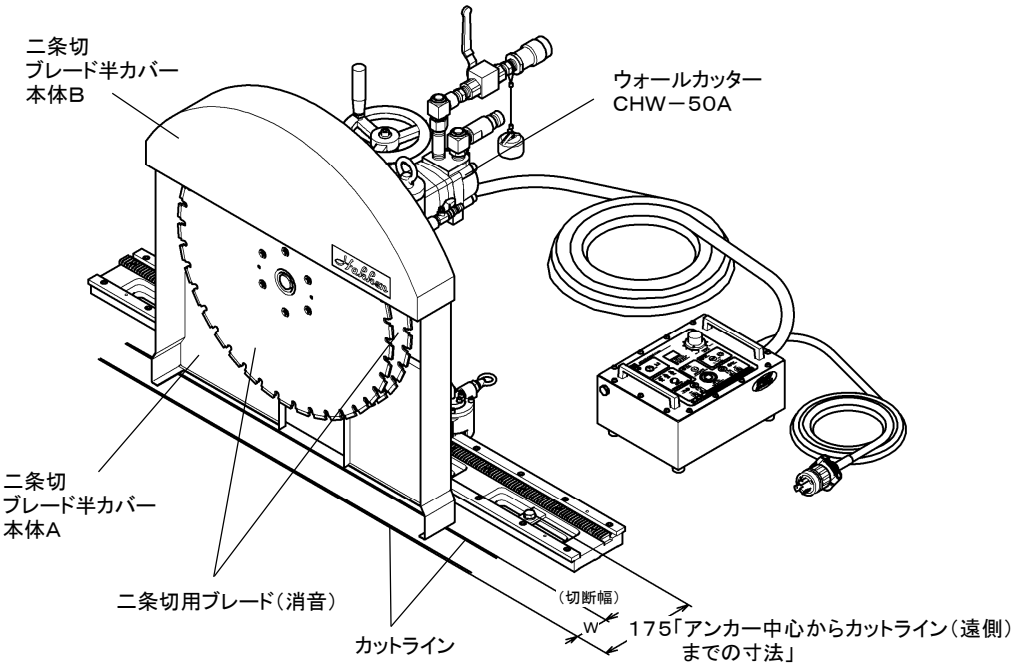


【3】油圧ユニットの違いによるブレードの最高回転速度[min^{-1}]

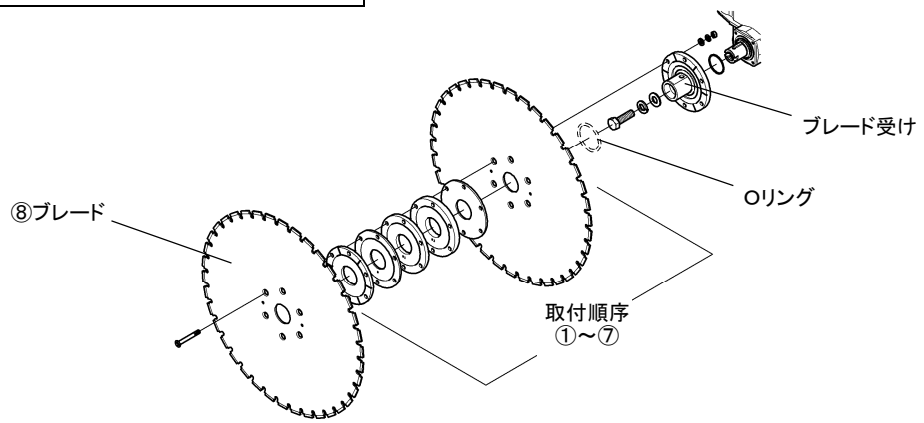
油圧ユニット型式名	油圧モータ組型式名（最高回転速度）／電源周波数	2060－12A（850min^{-1}）	HB05－16A（898min^{-1}）	HB08－24A（746min^{-1}）	A125－600A（772min^{-1}）
E－1524A	50Hz	673	484	339	350
E－1124A	60Hz	808	581	407	420
E－2012A eco^{+}	50Hz	851(注1)	612	429	443
	60Hz	1025(注1)	737	516	533
E－2002A eco^{+}	50Hz	748	538	377	389
E－2002A	60Hz	900(注1)	647	454	468
E－1114A	50Hz	659	474	332	343
E－1104A	60Hz	792	570	399	412
E－1812A	50Hz	739	531	372	385
E－1802A	60Hz	884(注1)	636	446	460
G－2800A	－	781	562	394	407
E－1100R	50Hz	638	458	321	332
E－1100	60Hz	766	551	386	398

（注1） 油圧モータの最高回転速度を超える恐れがある組み合わせです。18頁「油圧ユニットの吐出量設定表」にならい油圧ユニットの吐出量を調整し、油圧モータの最高回転速度を超えないようにしてください。

【4】二条切アタッチメント取付（ブレード半カバー） 仕様



切断幅とスペーサ取付順序の関係



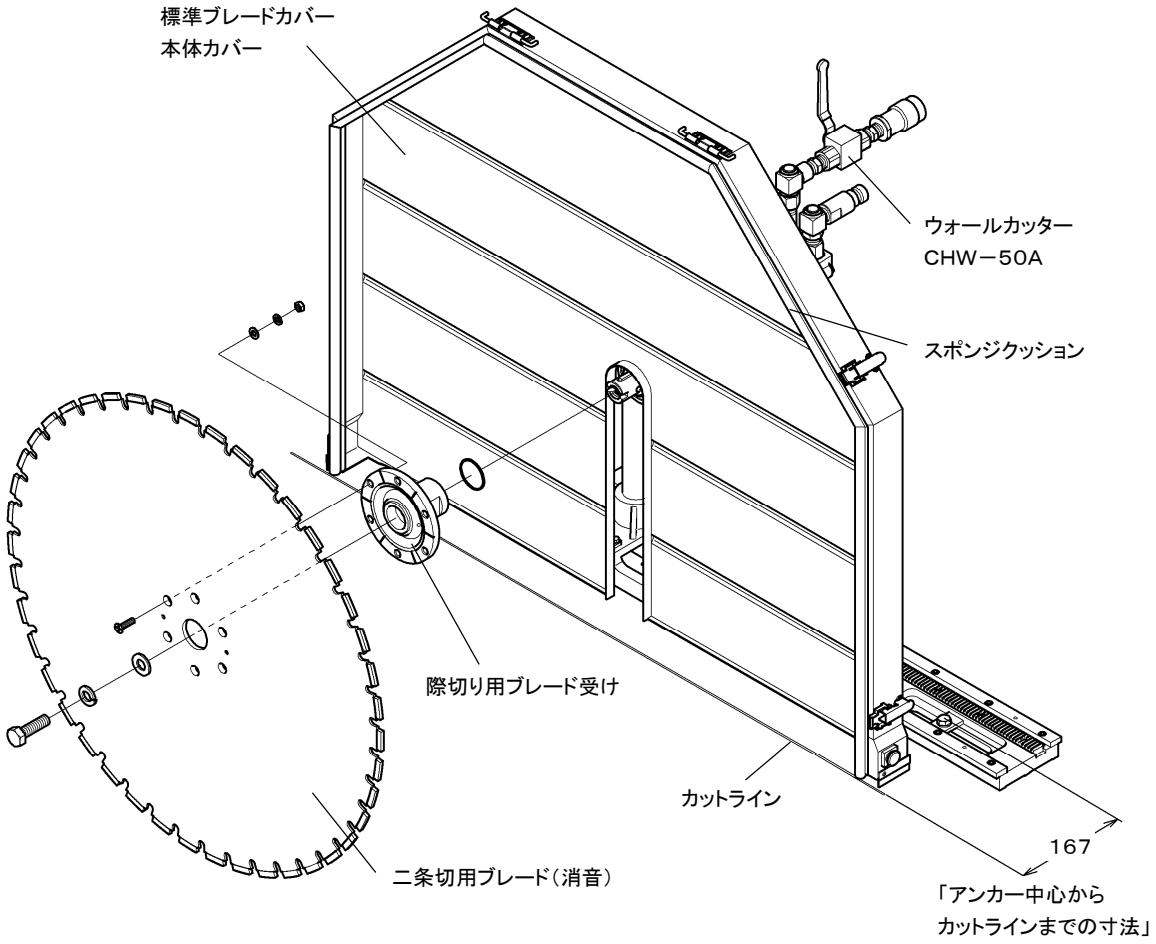
切断幅	取付順序								
W	Oリング	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
50mm	無	ブレード	5mm溝	5mm	10mm	15mm	－	7．5mm溝	ブレード
45mm	有	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	15mm	－		
40mm		5mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm	15mm		
35mm		10mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	15mm	－		
30mm		15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	－		
25mm		5mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm		
20mm		10mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	－		
1枚切断		3mm黒	5mm	5mm	10mm	15mm	－		

⚠ 注 意

1．切断面に注水するため、5mm溝および7.5mm溝のブレードに接するスペーサは、溝のある面をブレードに接触するように取付けてください。

2．ブレード受けの取付けに、ラチェットレンチ24mmが必要です。

【5】際切り用ブレード受け取付仕様



⚠ 警 告
1．本体カバーのみでの切断は、片面が開いた状態なので非常に危険です。壁際などの際切り以外には使用しないでください。 2．切削水の飛散防止、回転中のブレードの破損によるけがの防止および、巻き込まれ防止のため、ブレードカバー本体のスポンジクッションは壁面などに密着させ、周囲に危険が及ばないように、防護板を設置するなどの対策を行ってください。

⚠ 注 意
際切り用ブレード受けの取付けに、ラチェットレンチ24mmが必要です。

【6】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数50Hz地域

油圧ユニット	油圧モータ組 型式名	ブレード径とブレード周速度別、油圧ユニットの吐出量設定値							
		26”		30”		40”		48”	
		1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]
E-2012A eco+	2060-12A	3	1 1/2	3 3/4	2 1/2	5	4	—(注2)	4 3/4
	HB05-16A	3/4	—(注2)	1 3/4	0	3 1/2	2 1/4	4 1/2	3 1/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	1 1/4	—(注2)	2 1/2	1
E-2002A eco+ E-2002A	2060-12A	3	3/4	4	2 1/4	6	4 1/2	—(注2)	5 3/4
	HB05-16A	—(注2)	—(注2)	1	—(注2)	3 3/4	1 3/4	5	3 1/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	1/4	—(注2)	2 1/4	—(注2)
E-1524A E-1124A	2060-12A	1 1/2	—(注2)	2 1/2	3/4	最大	2 3/4	—(注2)	3 3/4
	HB05-16A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	2	1/2	3 3/4	1 3/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	3/4	—(注2)
E-1812A E-1802A	2060-12A	2 3/4	1/2	3 3/4	2	最大	4 1/4	—(注2)	5 1/2
	HB05-16A	—(注2)	—(注2)	1	—(注2)	3 1/2	1 1/2	4 3/4	3 1/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	0	—(注2)	2	—(注2)
E-1114A E-1104A	2060-12A	0/7	—(注2)	5/5	0/8	0/3	9/4	—(注2)	3/3
	HB05-16A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	0/6	6/8	2/4	4/6
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	0/8	—(注2)
E-1100R E-1100	2060-12A	1 3/4	—(注2)	3 1/2	1/2	6 1/4	4	7 1/2	5 3/4
	HB05-16A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	2 3/4	0	4 3/4	2 1/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	—(注2)	1/2	—(注2)

（注1）油圧ユニットの吐出量設定方法については、油圧ユニットの取扱説明書を参照ください。

（注2）ーの組み合わせは、周速度条件を満たさない組み合わせです。

（注3）この油圧ユニットの吐出量設定表はあくまでも目安です。被削物によって条件が変わりますので、その場合は吐出量を変更してください。

【7】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数60Hz地域

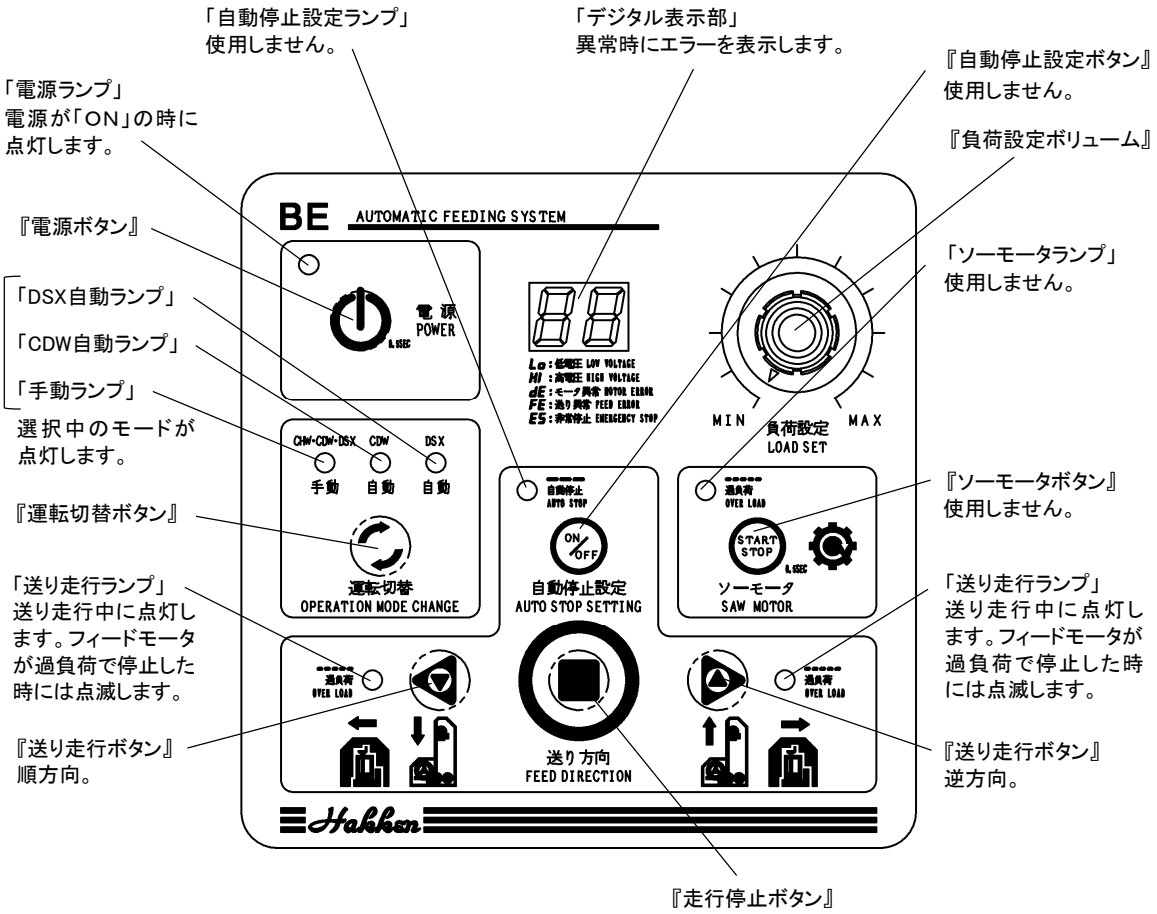
油圧ユニット	油圧モータ組 型式名	ブレード径とブレード周速度別、油圧ユニットの吐出量設定値							
		26”		30”		40”		48”	
		1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]
E-2012A eco+	2060-12A	4	2 3/4	4 1/2	3 1/2	—(注5)	4 3/4	—(注5)	—(注5)
	HB05-16A	2	1/2	3	1 1/2	4 1/2	3 1/4	—(注5)	4 1/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	1/2	—(注5)	2 1/2	1	3 1/2	2 1/4
E-2002A eco+ E-2002A	2060-12A	4 1/2	2 1/2	5 1/4	3 1/4	—(注5)	5 3/4	—(注5)	—(注5)
	HB05-16A	1 1/2	—(注5)	2 3/4	3/4	5	3 1/4	—(注5)	4 3/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	—(注5)	—(注5)	2 3/4	—(注5)	3 3/4	1 3/4
E-1524A E-1124A	2060-12A	2 3/4	1 1/4	3 1/2	2 1/4	—(注5)	3 3/4	—(注5)	—(注5)
	HB05-16A	1/4	—(注5)	1/2	—(注5)	3 1/4	1 3/4	—(注5)	3
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	—(注5)	—(注5)	1	—(注5)	2 1/4	3/4
E-1812A E-1802A	2060-12A	4 1/4	2 1/4	5	3 1/2	—(注5)	5 1/2	—(注5)	—(注5)
	HB05-16A	1 1/4	—(注5)	2 3/4	1/2	4 3/4	3 1/4	—(注5)	4 1/2
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	—(注5)	—(注5)	2	—(注5)	3 1/2	1 1/2
E-1114A E-1104A	2060-12A	0/5	4/7	8/3	9/5	—(注5)	3/3	—(注5)	—(注5)
	HB05-16A	8/8	—(注5)	1/7	—(注5)	2/4	4/6	—(注5)	6/4
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	—(注5)	—(注5)	0/8	—(注5)	9/5	5/8
E-1100R E-1100	2060-12A	4	1 1/4	5 1/4	3	7 3/4	6	8 3/4	7 1/4
	HB05-16A	—(注5)	—(注5)	1 1/2	—(注5)	5	2 1/2	6 1/2	4 1/2
	HB08-24A、A125-600A	—(注5)	—(注5)	—(注5)	—(注5)	3/4	—(注5)	3	0

（注4）油圧ユニットの吐出量設定方法については、油圧ユニットの取扱説明書を参照ください。

（注5）ーの組み合わせは、周速度条件を満たさない組み合わせです。

（注6）この油圧ユニットの吐出量設定表はあくまでも目安です。被削物によって条件が変わりますので、その場合は吐出量を変更してください。

8. 自動送り装置 BE−32A Pro(オプション品)のパネル面



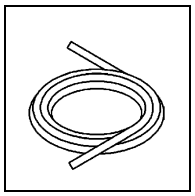
９．使用方法

⚠ 警 告
１．切断作業時に切片部の落下防止など危険防止措置のための安全対策を行ったうえで切断作業を行ってください。 ２．油圧ユニットの取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって安全にご使用ください。

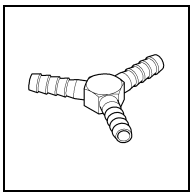
◎ この項目は、油圧ユニット Ｅ－2012A eco^{+}を使用した時の操作方法を説明しています。

【1】油圧ユニット Ｅ－2012A eco^{+}の準備

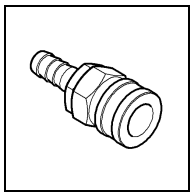
準備するもの



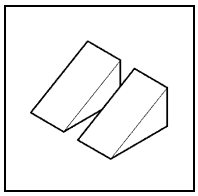
給水ホース
・・・必要数



三方継手
・・・必要数



カプラー1／2”
ソケット
・・・必要数



車輪止め
・・・最低2ヶ

１．電源接続

◎ 油圧ユニット Ｅ－2012A eco^{+}を電源に接続してください。

⚠ 警 告
１．感電に注意してください。漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。 ２．電源ケーブルを電源に接続する時は、発電機のエンジン・分電盤のブレーカは必ず切った状態で接続し、必ずアース線（緑色線）も接続してください。

２．吐出圧力（最大負荷圧力）の設定

◎ 油圧ユニットに油圧ホース組を接続しない状態で行ってください。

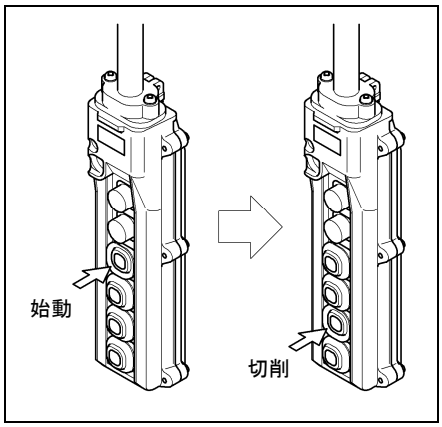
◎ 工場出荷時の圧力設定は、21MPaです。

ポイント
油圧ホースを接続した状態では、油圧ユニットの油圧計に設定圧力が表示されません。

1） 油圧作動油の暖気運転を行ってください。温度計付油面計で油温を確認して、油温が20～60℃になりましたら、油圧作動油の暖機運転の完了です。

2） リモートコントロールスイッチの『始動ボタン』を押し、油圧ユニットを始動させてください。

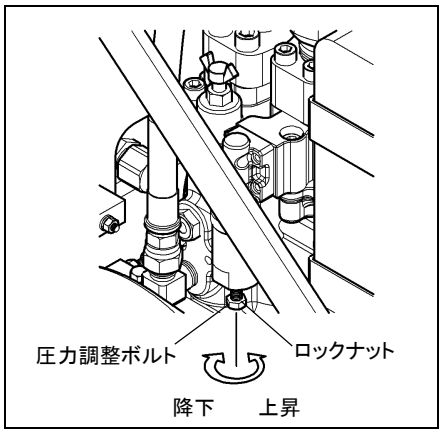
3） 油圧ユニットの始動後約6秒待ってから、リモートコントロールスイッチの『切削ボタン』を押してください。



4） 両口スパナ（13×17mm）でロックナットをゆるめ圧力調整ボルトをまわしてください。

5） 圧力を上げる場合は、圧力調整ボルトを締込む方向にまわし、圧力を下げる場合は、ゆるめる方向にまわしてください。

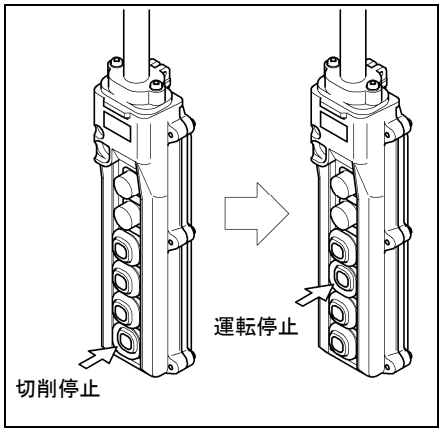
6） 油圧計を見ながら必要な圧力に設定し、両口スパナ（13×17mm）でロックナットを締めて固定してください。



⚠ 注 意
圧力の設定は、銘板に表示されている定格圧力を超えないようにしてください。定格圧力以上で使用すると、油圧モータの故障の原因になります。

7） リモートコントロールスイッチの『切削停止ボタン』を押してください。

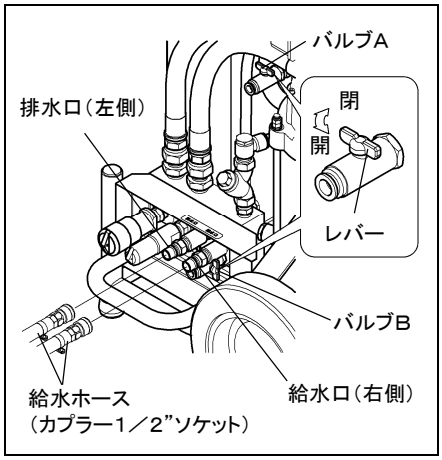
8） リモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押し、油圧ユニットを停止させてください。



3．給水ホース・油圧ホース組の接続

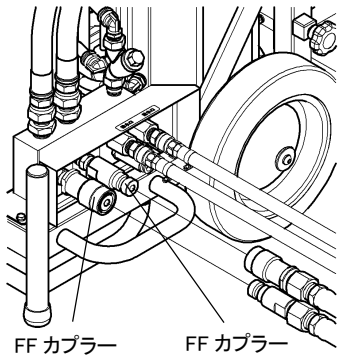
1） 水道からの給水ホースを油圧ユニットの給水口のカプラー（オス）に接続してください。

2） 給水ホースを排水口のカプラー（オス）に接続し、排水してください。



⚠ 注 意
1．給水量は10L／min以上とし、油温を20～60℃の範囲に調整してください。 2．給水は、必ず清水を使用してください。 3．水抜きバルブAおよびBのレバーが「閉」になっている事を確認してください。 （「開」になっていると給水をした時にバルブから水が流れ出ます。） 4．油圧ユニットの排水をウォールカッター用の給水に流用する時は、三方継手を用いて分岐させ、ウォールカッターへの給水が過剰にならないようにしてください。

3） 油圧ユニットのFFカプラーに、油圧ホース組を接続してください。



⚠ 警 告

油圧ホース組の接続は、必ず油圧ユニットが停止した状態で行ってください。油圧ユニットが起動中の場合、圧力がかかっているためFFカプラーの接続ができません。また、FFカプラーを無理やり押し込むと油が漏れる恐れがあります。

⚠ 注 意

1. FFカプラーは、カチッというところまで押込んで接続してください。

2. FFカプラーにゴミ・泥などが付着している時は、きれいな布などで拭きとってから接続してください。

3. 延長用のオプション品として、「油圧ホース ５／８”組 20m eco+（生分解性作動油入り）」と「油圧ホース ５／８”組 FFプラグ－ソケット 20m」があります。新しく「油圧ホース ５／８”組 FFプラグ－ソケット 20m」を使用する場合は、ホース内に作動油が入っていないためタンク内の油量が減少します。このため、油圧機器を接続しないで、油圧ユニットと新しい延長ホースの吐出・戻りをループ状（環状）に接続し、リモートコントロールスイッチでインチング（寸動）を行い油面計で確認しながら給油してください。延長ホースは必ず１本ずつ接続し給油を行ってください。２本同時に接続しますと油量の急激な減少により故障の原因になります。（油圧ホース組１本当たり、約4Lの給油が必要です。）

ポイント

当社のBSカプラー（ブリヂストン社製）仕様の油圧機器を使用する場合は、オプション品の「変換アダプタ」が必要です。

4. 吐出量（ブレードの回転速度）の設定

◎ 油圧ユニットは、可変容量ピストンポンプを使用しています。吐出量を変えることで、油圧モータの回転速度(ブレードの周速度)を任意に設定できます。下表の「吐出量の目安」を参考に設定してください。

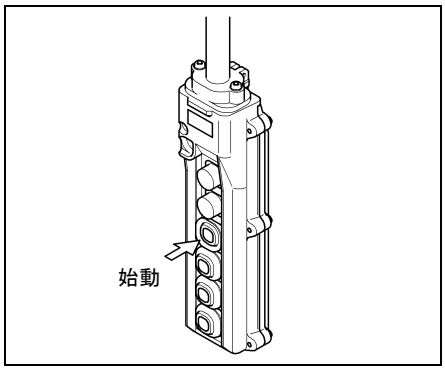
◎ 工場出荷時の吐出量は、41．5/50．0 L/min（50/60Hz）で設定しています。

⚠ 警 告

1. 吐出量の変更は、必ず油圧ユニットを始動させた状態で行ってください。

2. 油圧ユニットに接続する油圧機器の取扱説明書をよく読み、油圧機器の最大流量以内で吐出量を調整してください。最大流量以上で使用しますと故障の原因となります。

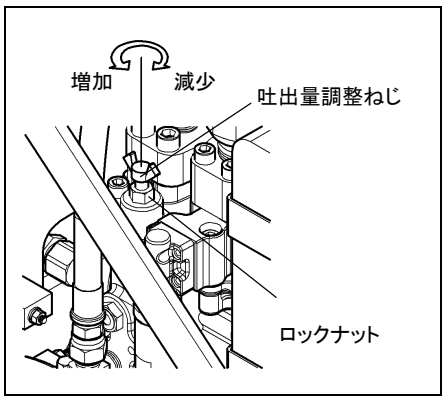
1）リモートコントロールスイッチの『始動ボタン』を押し、油圧ユニットを始動させてください。



2）両口スパナ（13×17mm）でロックナットをゆるめ、吐出量調整ねじをまわして吐出量を設定してください。

① 吐出量が最大となる位置（締込み回数0）は、吐出量調整ねじを回転抵抗が軽くなるまでゆるめ、そこから締込み回転抵抗が重くなった位置です。

② 18頁「油圧ユニットの吐出量設定表」を参照に任意の吐出量に設定してください。吐出量を減少させる場合は、吐出量調整ねじを締込む方向にまわし、吐出量を増加させる場合は、ゆるめる方向にまわしてください。



吐出量設定の目安

締込み回数		0	1	2	3	4	5	最大
吐出量［L／min］	50Hz	54．5	49．4	44．1	38．9	33．8	28．6	23．5
	60Hz	65．6	59．4	53．1	46．9	40．7	34．5	28．3

◎ 吐出量は、吐出量調整ねじ1回転で50Hz：約5L、60Hz：約6L増減します。

⚠ 注 意

1．油圧ユニットに接続する油圧機器の取扱説明書をよく読み、油圧機器の最大流量以内で吐出量を調整してください。

2．電源周波数60Hzで油圧モータ2060－12A を使用する場合、油圧ユニットの吐出量調整ねじを2回転以上締め込んでください。締め込みが不足している場合は、吐出量が油圧モータの最大流量（54L/min）を上回り、油圧モータの故障の原因となります。

ポイント

ブレードの適正周速度は、一般的には1200～1500m/minと言われますが、被切断物や現場の状況によって異なります。状況に応じて回転速度の設定を変えてください。

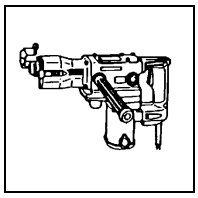
3）設定後は必ずロックナットを締めて固定してください。

4）リモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押し、油圧ユニットを停止させてください。

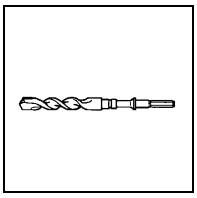
【2】トラックレール取付け用のアンカー施工

◎ 使用するハンマードリルの取扱説明書にしたがって作業してください。

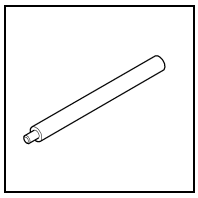
準備するもの



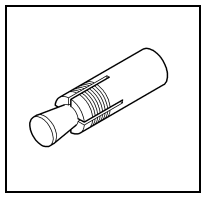
ハンマードリル
・・・1ヶ



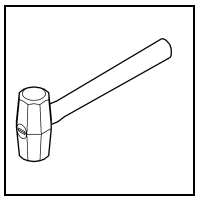
キリφ14．5
・・・1ヶ



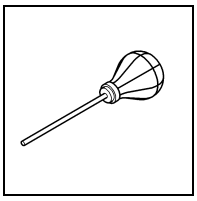
打込みホルダー
W3／8
・・・1ヶ



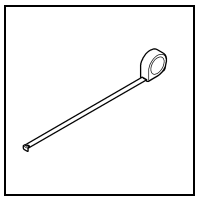
カットアンカー
W3／8
・・・必要数



ハンマー
・・・1ヶ



チリ吹き
・・・1ヶ



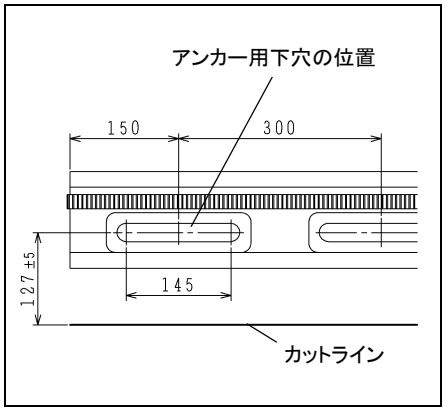
スケール
・・・1ヶ

1） スケールにて、カットラインから127±5mmの位置にアンカー用下穴の位置を墨付けし（右図参照）、ハンマードリルで下穴（キリサイズ：14.5mm　穴あけ深さ：55mm）をあけてください。

2） チリ吹きで穴の中の切り粉を排除してください。

3） カットアンカー（W3／8）を穴の中に挿入してください。

4） 打込みホルダーとハンマーを使用して、カットアンカー（W3／8）をしっかりと打込んでください。



⚠ 警 告

1．安全のため、トラックレール　1200LA　1本につき、4ヶ所のカットアンカー固定を行ってください。600LAでは2ヶ所、1800LAでは6ヶ所となります。

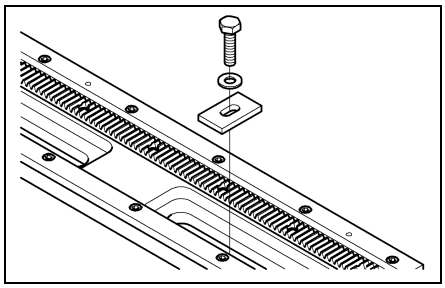
2．下穴の中の切り粉は、完全に排除してください。切り粉が残っていると、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。

3．カットアンカーはしっかりと打ち込んでください。打込み不足は、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。

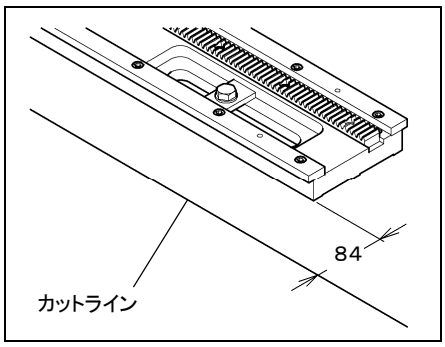
4．当社指定のカットアンカーを使用してください。

【3】ウォールカッターの取付け

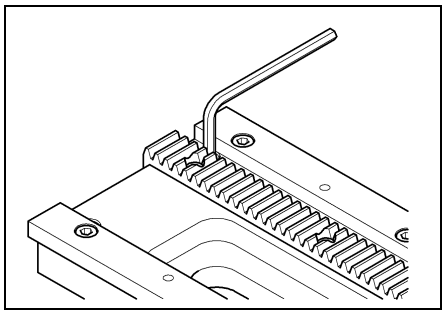
1）トラックレールを、角座金（W3／8×50×30×t6）と平座金（W3／8）と六角ボルト（W3／8×38mmまたはW3／8×50mm）で固定してください。



2）トラックレールの側面にスケールをあて、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。



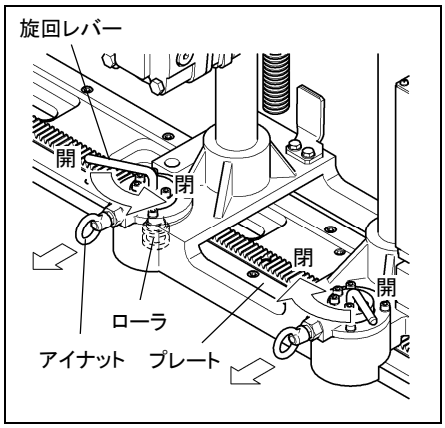
3）六角棒レンチ（5mm）でレベル調整をし、トラックレールをしっかりと固定してください。



4）ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを開方向（外向き）にまわしてください。

5）ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールの任意の位置に置いた後、トラックレールのプレートに、ウォールカッターのローラをはめ込んでください。

6）ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを閉方向（内向き）にまわしてください。



7）4個のローラとトラックレールのプレートがかみあい、アイナットの先のピンが旋回レバーにはまり込んだことを確認してください。

⚠ 警 告

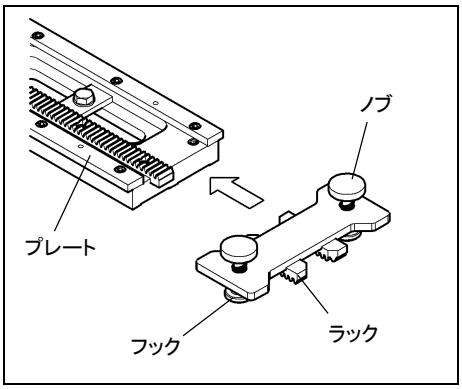
1．壁面取付けの場合は、2人以上で行ってください。1人で取付けを行うと、ウォールカッターが落下し、けがをする恐れがあります。

2．旋回レバーは閉方向に正しく固定してください。正しく固定されていないと、ローラがプレートからはずれ、ウォールカッターが転倒または落下する恐れがあり大変危険です。

【4】トラックレールストッパLAの取付け

1）トラックレールストッパLAのノブを押し込み、トラックレールのプレートにフックがかかるように、端面より差し込んでください。

2）設定したい切断長の位置にラックがかみあうように取付けてください。



⚠ 警 告

トラックレールの端面まで走行させるなど、ウォールカッターのフィードギヤとトラックレールのラックのかみあいがはずれた場合は、ウォールカッターが落下または転倒する恐れがあり大変危険ですので、必ずトラックレールストッパLAを取付けてください。

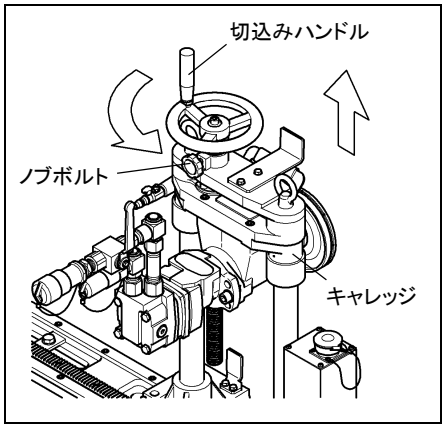
⚠ 注 意

トラックレールとトラックレールストッパLAのラックがかみあうように取付けてください。
ラックがうまくかみあっていないと、使用中にトラックレールストッパLAがはずれる恐れがあります。

【5】ブレードの取付け

1）切込みハンドルを反時計回りにまわし、キャレッジを最上限位置にして、ノブボルトを締めて固定してください。

2）ブレードを取付けてください。詳しくは、35頁「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。



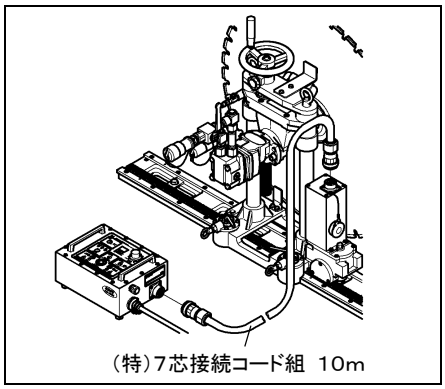
【6】自動送り装置 BE－32A Proの接続

1）ウォールカッターと自動送り装置BE－32A Proを、（特）7芯接続コード組 10mで接続してください。

⚠ 注 意

1. レセプタクルがぬれている場合は、十分乾燥させてから接続してください。

2. レセプタクルと、その周辺に付着しているゴミ等は、きれいに拭き取ってから接続してください。

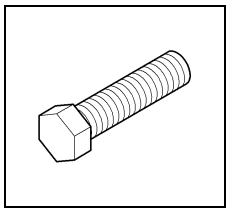


2） 自動送り装置BE－32A Proのプラグを電源に接続してください。

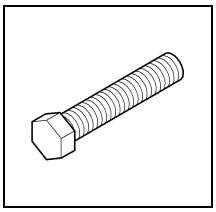
◎ 専用のハードトランスに接続するか、オプション品の変換アダプタを使用し、油圧ユニットのコンセントに接続してください。

【7】トラックレールの連結

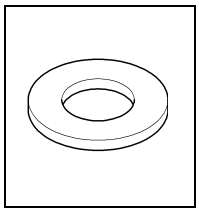
準備するもの



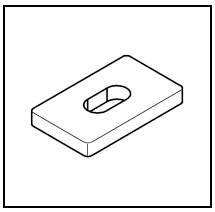
六角ボルト
W3／8×38mm
・・・必要数



六角ボルト
W3／8×50mm
・・・必要数



平座金
W3／8
・・・必要数

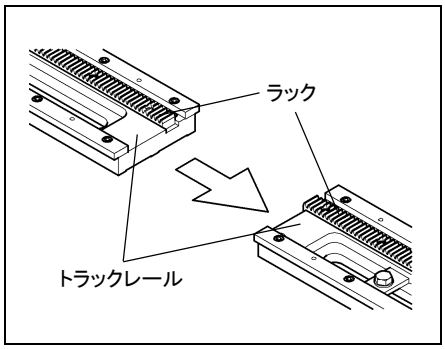


角座金
W3／8×50×30×t6
・・・必要数

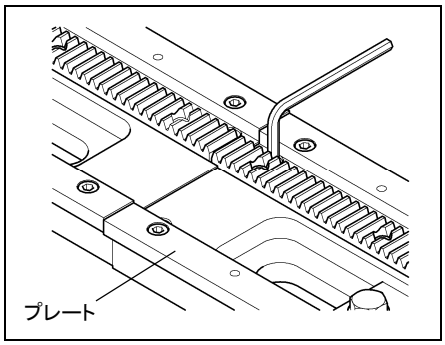
1） 24頁「【2】トラックレール取付け用のアンカー施工」と同様に、アンカーを打込んでください。

2） ラックを隣のトラックレールにはめ込んで、トラックレールの端面どうしを密着させて、角座金・平座金・六角ボルトで固定してください。

⚠ 注 意
壁面取付けの場合は、トラックレールが落下しないよう注意してください。

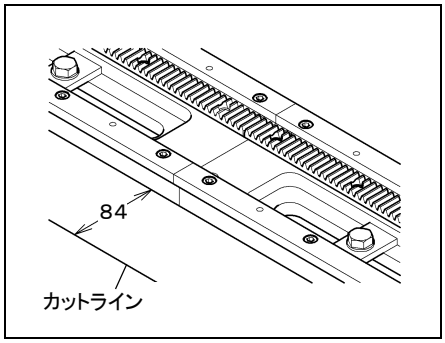


3） プレートの合わせ面に段差がある場合や、トラックレールの端面どうしが密着していない場合は、六角棒レンチ（5mm）でレベル調整してください。



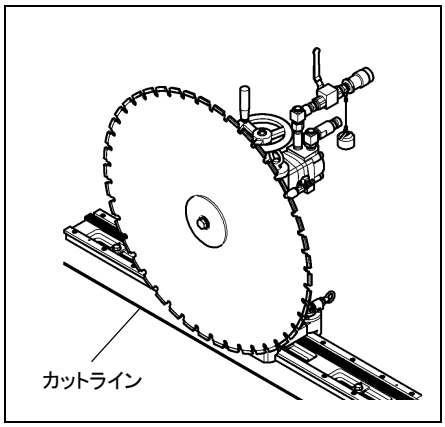
4） トラックレールの側面にスケールをあて、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。

⚠ 注 意
トラックレールをハンマーなどの硬いもので、直接たたかないでください。



5）ウォールカッターを試験走行させ、ブレードがカットラインの位置に合うようにトラックレールを微調整してください。詳しくは、29頁「【11】切断作業」を参照してください。

⚠ 警 告
ブレードは回転させないでください。



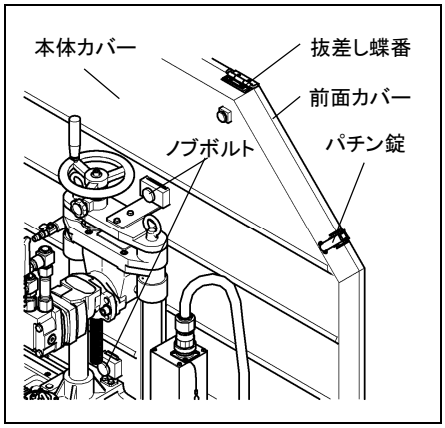
6）トラックレールの六角ボルトをラチェットレンチでしっかりと締めて、固定してください。

【8】ブレードカバーの取付け

⚠ 警 告
水の飛散防止、ブレードの破損によるけがの防止および、巻き込まれ防止のためにも必ずブレードカバーは使用してください。

1）本体カバーと前面カバーを合わせて、抜差し蝶番・パチン錠にて固定してください。

2）本体カバーをウォールカッターに取付けて、ノブボルトで固定してください。



3）必要に応じて排水口の位置を移動させ、排水用ホースの片側を排水口に接続し、ホースの反対側をバケツ等で受けます。

【9】給水の準備

◎ 給水コックを閉じ、給水用カプラーまたは給水用ホースを接続してください。給水用ホースの場合は、ホースバンドで締付けてください。

◎ 給水コックに取付け可能なホースの内径は15mmです。

⚠ 注 意
油圧ユニットの排水をウォールカッター用の給水に流用する場合は、ウォールカッターへの給水量を調整できるように三方継手などで余剰分を排水できるようにしてください。

ポイント
給水コックにはハイカプラソケット20MS（日東工器）やジョプラWナットタイプTN－6．5WR（ジョプラックス）等のハイカプラ仕様のソケットが取付け可能です。

【10】飛散水の処理対策

1. 現場に応じた飛散水の処理対策

◎ 切削水が飛び散りますので、シートを張るなどの対策を行ってください。

⚠ 注 意
貫通側の飛散水の処理対策も行ってください。

2. フィード部への飛散水の処理対策

◎ 給水をしながらブレードを回転させ、フィード部に水が飛び散る場合は、ブレードの回転を止めてから、飛散水の処理対策を行ってください。対策できない場合は、作業を中止してください。

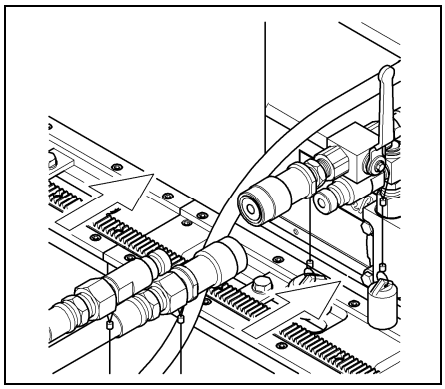
⚠ 注 意
1. フィード部内のフィードモータや内部配線に水が入りますと故障の原因となります。 2. 壁面の垂直切断（上下方向切断）で、フィード部が下側にある時は、特に注意してください。

【11】切断作業

⚠ 警 告
切断作業中にウォールカッターなどに異常が発生した時は、ただちに油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押してブレードの回転を止め、BE－32A Proの『非常停止ボタン』を押して走行を停止してください。

1) 油圧ホース組をウォールカッターに接続してください。

⚠ 注 意
1. FFカプラーは、カチッというところまで押込んで接続してください。 2. FFカプラーにゴミ･泥などが付着している時は、きれいな布などで拭き取ってから接続してください。

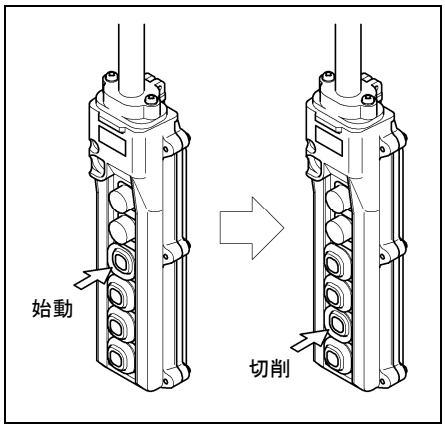


2) 水道の蛇口をあけ、給水コックを徐々に開き、給水量を調整してください。

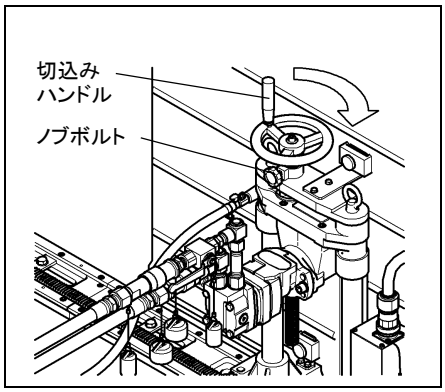
⚠ 注 意
1分間に3リットル程度、給水してください。

3) 油圧ユニットが始動して6秒以上経過した後、リモートコントロールスイッチの『切削ボタン』を押し、ブレードを回転させてください。

◎ ボールバルブが閉じている場合は、ゆっくりと開いてブレードを回転させてください。



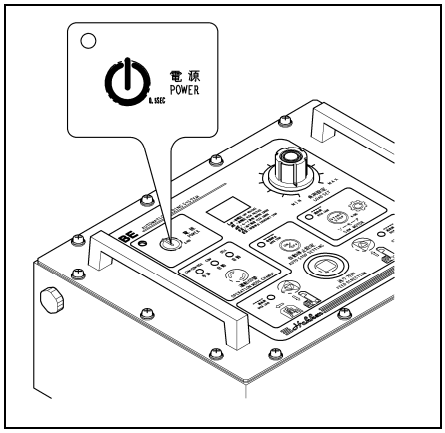
4) ノブボルトをゆるめ、切込みハンドルをゆっくりと時計回りにまわして切込んでください。（切込みハンドル1回転当たり、5mm移動します。）



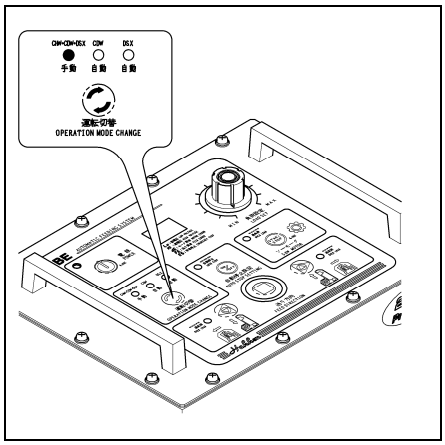
⚠ 注 意
1. 切込み中は油圧ユニットの圧力計を確認しながら、切込み力を調整してください。切込み深さが30mm以下の時は、油圧ユニットの圧力が5～8MPaになるよう切込んでください。切込み深さが30mm以上の時は、油圧ユニットの圧力が10～15MPaになるよう切込んでください。 2. 一度の切込み深さは、100mm以下にしてください。一度の切込みが深くなるほど機械に掛かる負担も大きくなり、切断速度も遅くなります。 3. 無理な力で切込みをしないでください。ブレードが破損する恐れがあります。

5) 自動送り装置 BE－32A Proの『負荷設定ボリューム』を「MIN」にして、『電源ボタン』を長押しして電源を「ON」にしてください。

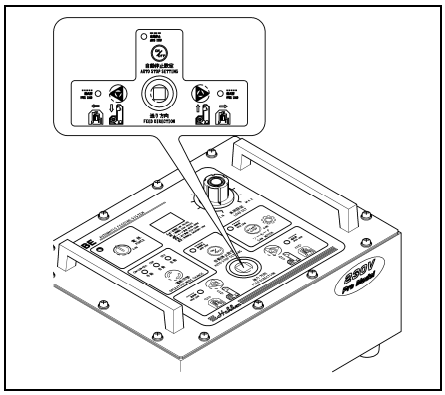
⚠ 注 意
自動送り装置の「デジタル表示部」にエラー表示が出て操作ができない場合は、36頁「作業中のトラブルと対策」の項を参照してください。



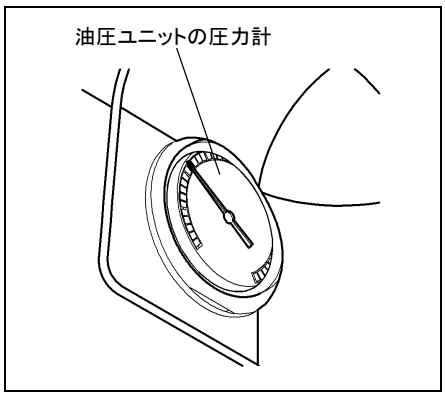
6) 自動送り装置 BE－32A Proの『運転切替ボタン』を押して、「CHW・CDW・DSX手動ランプ」を点灯させてください。



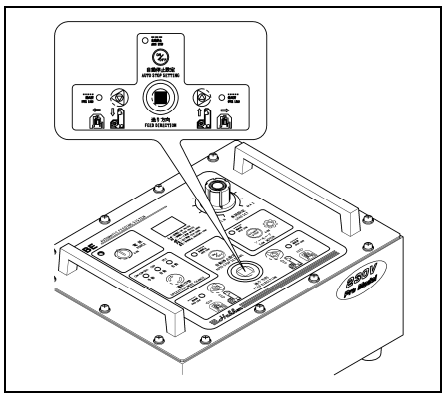
7) 自動送り装置 BE－32A Proの『送り走行ボタン（順方向）』または『送り走行ボタン（逆方向）』を押してください。



8) 『負荷設定ボリューム』をゆっくりとまわし油圧ユニットの負荷圧力が14～16MPaとなるように調整して、切断走行させてください。



9) 所定の距離を切断しましたら、自動送り装置 BE－32A Proの『走行停止ボタン』を押して、走行を停止してください。



10) 以上の 4)～ 9) までの操作を繰り返し、所定の深さまで切断作業を続けてください。

11) ステップ切り（ブレード40”以上）をする場合

⚠ 警 告
万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

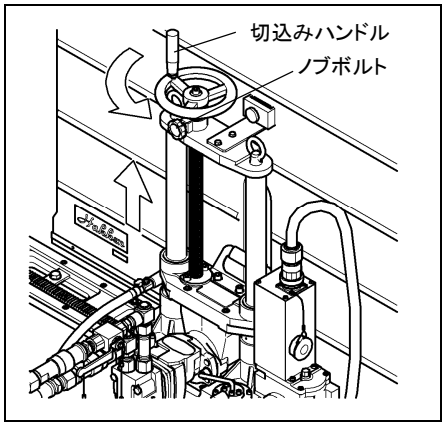
① ブレードカバーとブレードを取りはずします。

② 切断している溝へ、ブレード（40”以上）を入れてください。

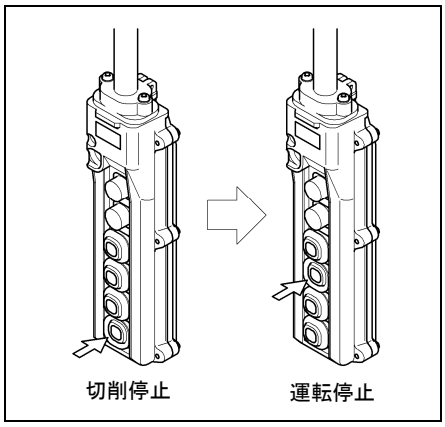
③ ブレードが溝に入ったままの状態で、ブレードを取付けてください。詳しくは、35頁「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。

④ ブレード径に合ったブレードカバーを取付けてください。

12) 切断作業が完了したら、ノブボルトをゆるめ、切込みハンドルを反時計回りにまわして、ブレードが被削物から出るまで引上げてください。

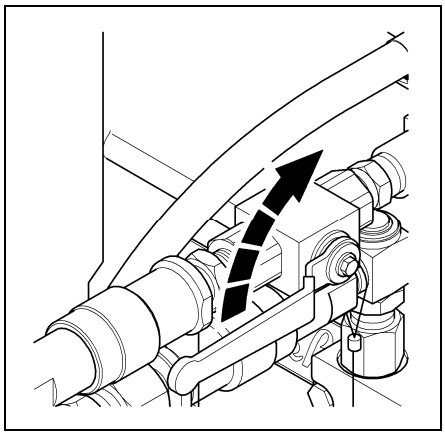


13) リモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押し、ウォールカッター、油圧ユニットを停止させてください。



◎ ボールバルブでブレードの回転を止める場合は、ボールバルブをゆっくりと閉じてください。

⚠ 警 告
ボールバルブを急に閉じないでください。油圧モータが急停止し、反動でブレードがはずれる恐れがあります。



14) 給水を止めてください。

【12】取りはずし作業

⚠ 警 告
万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

1) 油圧ホース組・給水ホースを取りはずしてください。

⚠ 注 意
1. 油圧ホースを取りはずす際にFFカプラーにゴミ等が付着していると、FFカプラーの接合部（へこみ部分）が戻りにくくなることがあります。この状態でウォールカッターが油圧ユニットより高所にあり、ウォールカッター側から油圧ホースを取りはずすと油圧ホース内に空気が入り込みます。その結果、油圧作動油が油圧作動油タンクからあふれる恐れがあります。油圧ホースは、油圧ユニット側から先に取りはずしてください。 2. 油圧ホースを取りはずした際は、FFカプラー部分にゴミなどの付着がないように清掃して、カプラーキャップを取付けてください。 3. 給水が停止したことを確認した後、給水ホースを取りはずしてください。

2) ブレードカバーのノブボルトをゆるめ、ブレードカバーを取りはずしてください。

⚠ 注 意
ブレードカバー内に残った切削水やヘドロがあふれ出ないよう注意してください。

3) ブレードを取りはずしてください。詳しくは、35頁「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。

4) 自動送り装置BE－32A Proの電源プラグを電源から抜いてください。

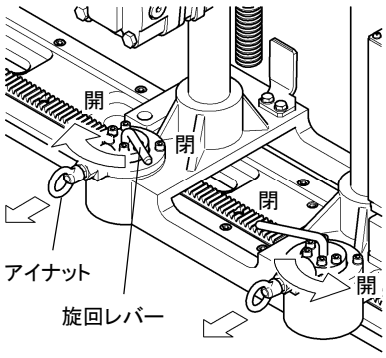
5) ウォールカッターから、（特）7芯接続コード組 10mを取りはずしてください。

⚠ 警 告
1. レセプタクルおよび周辺に付着している水分は、きれいに拭き取ってから取りはずしてください。 2. 取りはずす時は、ケーブルを引張って抜かないでください。 3. ウォールカッターのレセプタクルにはキャップを取付けてください。

6) ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを開方向にまわしてください。

7) ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールから取りはずしてください。

⚠ 警 告
壁面取りはずしの場合は、2人以上で行ってください。1人で取りはずしを行うと、ウォールカッターが落下し、けがをする恐れがあります。



8) トラックレールを取りはずしてください。

⚠ 注 意
壁面取付けの場合は、トラックレールが落下しないよう注意してください。

9) 油圧ユニットの片付けは、油圧ユニットの取扱説明書にしたがってください。

10) 切断部を清掃して完了です。

10. ウォールカッターの分離・組付け方法

⚠ 警 告
万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

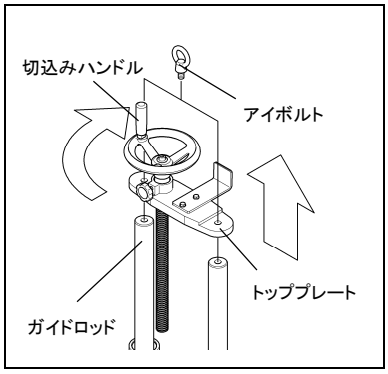
【1】ウォールカッターの分離方法

1) ラチェットレンチなどの工具を、アイボルトに引掛けてまわし、アイボルトをはずしてください。

2) 切込みハンドルを時計回りにまわし、キャレッジを最下限位置まで動かしてください。

3) さらに切込みハンドルを時計回りにまわし、切込みハンドル・トッププレートを取りはずしてください。

4) キャレッジをガイドロッドから抜取ってください。



⚠ 警 告
ウォールカッターを分離する場合は、ベースを固定した状態で行ってください。ベースが固定されていないと、キャレッジを抜取る際にけがをする恐れがあります。

⚠ 注 意
ウォールカッターが分離された状態で、運搬は行わないで下さい。各部品の曲り、ゴミの付着等により、故障する恐れがあります。

【2】ウォールカッターの組付け方法

◎ ウォールカッターの組付けは、上記分離と逆の手順で行ってください。

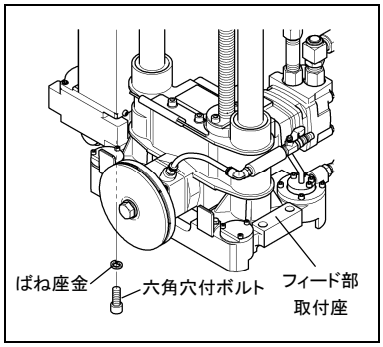
ポイント
1. キャレッジのガイドロッド差込み口内に、グリースがあることを確認して、少なければ組付けた状態で、グリスニップルから補充してください。 2. スライド部分へのゴミ等の付着を防止するため、ウォールカッターが分離された状態で長時間放置しないでください。

11．フィード部の位置変更方法

1）六角棒レンチ（10mm）で、フィード部を固定している六角穴付ボルトM12×40をはずしてください。

2）フィード部をはずし、反対側のフィード部取付座に移動してください。

3）六角棒レンチ（10mm）で、六角穴付ボルトM12×40を締付けてください。



12. ブレードの取付け・取りはずし

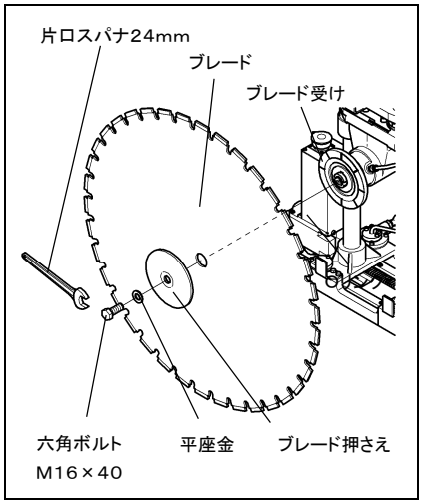
⚠ 警 告
万一の事故を防止するため、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

【1】ブレードの取付け

1）片口スパナ（24mm）で、六角ボルト・平座金・ブレード押さえをはずしてください。

2）ブレードを取付けてください。

3）ブレード押さえ・平座金・六角ボルトを取付け、片口スパナ（24mm）で、六角ボルトをしっかりと締付けてください。



⚠ 注 意
1．ブレードの取付けの際は、六角ボルトをしっかりと締付けてください。締付け不足の場合は、ブレードがスリップするため、ブレード押さえが摩耗し、切断の直進性が低下します。 2．ブレードの取付け、取りはずしの時は、ボールバルブを開き、油圧ホース組をつないだ状態で行ってください。油圧回路を遮断した状態でブレード受けまたはブレードをまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

【2】ブレードの取りはずし

◎ ブレードの取りはずしは、上記取付けと逆の手順で行ってください。

13. 作業中のトラブルと対策

【1】作業中のトラブルと対策方法

◎ 作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中止して安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原因	対策方法
自動送り装置BE－32A Proの「デジタル表示部」に”HI”のエラー表示が出る	電源電圧が高すぎる 260V以上	正常な電源に接続しなおし、『電源ボタン』を押す
自動送り装置BE－32A Proの「デジタル表示部」に”Lo”のエラー表示が出る	電源電圧が低すぎる 170V以下	正常な電源に接続しなおし、『電源ボタン』を押す。一時的な電圧降下の場合は、電源電圧が正常に戻った後、『電源ボタン』を押して復帰（リセット）する
自動送り装置BE－32A Proの「送り走行ランプ」が点滅する	フィードモータに過負荷が掛かり、過負荷保護機能が働いている	『走行停止ボタン』を押して点滅を解除し、過負荷の原因を取除く
ウォールカッターが停止した	ウォールカッターおよびブレードカバーが障害物に接触している	障害物を取除く
	トラックレールの固定に寸切ボルトなどを使用して、ボルトがベースにあたるなど走行障害になっている	ボルトを交換するか、寸切ボルトを締めなおしベースにあたらないようにする
	ローラまたはラックにゴミが付着している	清掃または修理
	ラックが破損している	修理
	トラックレールのスライド面が変形している	修理
自動送り装置BE－32A Proの『送り走行ボタン』を押してもウォールカッターが走行しない	フィードギヤボックスが破損している	修理
	フィードモータの故障	修理
	（特）7芯接続コード組 10mの断線	修理
ブレードが回転しない	油圧ユニットのトラブル	油圧ユニットの取扱説明書を参照
	油圧ホース組の接続不良	カプラーの接続をやり直す
切込みハンドルがまわらない	ノブボルトが締まっている	ノブボルトをゆるめる
	フィードスクリューにゴミなどが付着している	フィードスクリューを掃除し、グリースを塗布する
切断速度が遅い	鉄筋を切断している	無理に力をかけずに切断する
	ブレードのチップが摩耗している	新品交換
	ブレードが切れない	コンセック各営業所に相談
	油圧ユニットの油温が高い	油圧ユニットの取扱説明書「作業中のトラブルと対策」を参照
	油圧モータに力がない	油圧ユニットの取扱説明書「作業中のトラブルと対策」を参照
振動が大きい	トラックレールの取付け不良	取付けをやりなおす
	ブレードが変形している	修理
	メインシャフトが曲がり、芯ぶれしている	修理
ブレードがロックした	鉄片および混入された石などが、ブレードと切断面の間にはさまっている	37頁「ブレードがロックした場合の解決方法例」を参照
	チップ側面が摩耗して、基板と同じ厚さになっている	新品交換

【2】ブレードがロックした場合の解決方法例

⚠ 警 告
万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

1） 自動送り装置BE－32A Proの『走行停止ボタン』を押して走行を停止し、『電源ボタン』を押し、「電源ランプ」を消灯させてください。

2） 油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『運転停止ボタン』を押し、ウォールカッター・油圧ユニットを停止させてください。

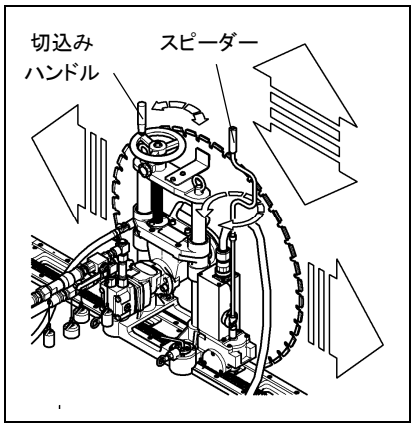
3） ブレードカバーを取りはずしてください。

4） 下記の①～③を行い、ブレードを引上げられる位置を探ってください。

① 切込みハンドルをまわしてブレードを上下させる。

② スピーダー等でフィードギヤボックスの六角頭付シャフトをまわして、ウォールカッターを送り方向に前後させ

③ ブレード受けの二面幅にスパナ（46mm）をかけ、ブレードが動きやすい方向にまわす。



⚠ 注 意
1. 送り方向への前後移動や、ブレードの上下方向移動には無理な力をかけないでください。ブレードのチップが脱落する恐れがあります。 2. ブレード受けをまわす時は、ボールバルブを開き、油圧ホース組をつないだ状態でまわしてください。油圧回路を遮断した状態でブレード受けまたはブレードをまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

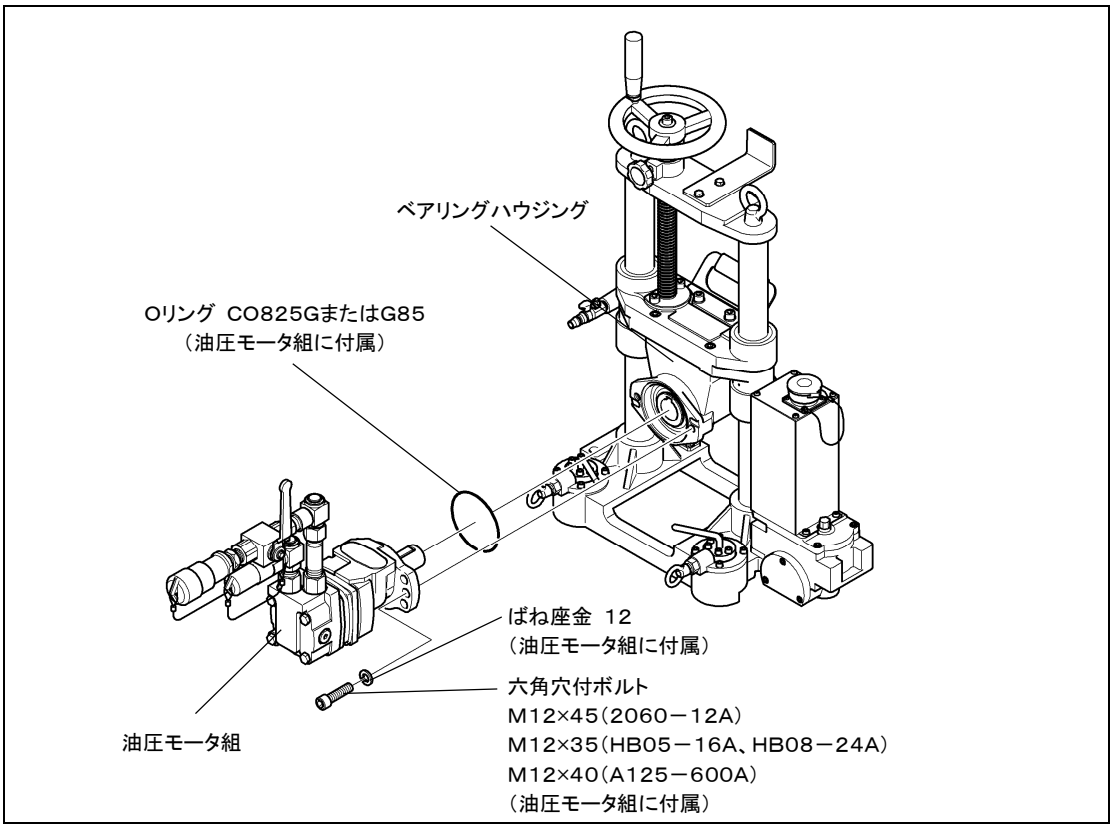
4） 切込みハンドルをまわして、ブレードを切断溝から引き上げてください。

5） 切断溝から、ロックの原因（鉄片、石など）をできるだけ取除いてください。

14. 油圧モータ組の取付け

⚠ 注 意
ベアリングハウジングと油圧モータ組の合わせ面にすきまができたり、傾いたりしないように注意してください。

◎ 六角穴付ボルト(2個)・ばね座金12(2個)・Oリングで、油圧モータ組とベアリングハウジングを六角棒レンチ10mmで締付け、固定してください。



15. 点検・保守・修理

【1】作業前点検

◎ ウォールカッター・ブレードカバー・トラックレール・ブレードに、亀裂・破損はないか、ウォールカッターとトラックレールのスライドにガタ付きはないか、油圧モータ・ボールバルブ・FFカプラーに油漏れがないかを点検してください。また、ケーブル被覆部に亀裂・損傷はないか点検してください。また、異常があった場合は、お買い求めの販売店またはコンセック各営業所にお問い合わせください。

【2】定期点検

◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。

⚠ 注 意
ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

【3】保 守

◎ 作業後には、清掃および保守を行ってください。

⚠ 注 意
1. 清掃作業の時は、必ずフィード部のレセプタクルにキャップを取付けてください。 2. フィード部には水をかけないでください。故障の原因となります。

1) ウォールカッターの外枠は、アルミや鉄などを使用しています。外枠の清掃の時は、乾いた布で拭いてください。
2) FFカプラーには、水をかけないようにし、きれいなウエスなどで拭いてください。
3) ガイドロッドは、特にきれいにしておいてください。
4) ローラは、きれいにしておいてください。
5) フィードスクリューには、グリースを塗布しておいてください。
6) トラックレールのレベルボルトには、注油をしておいてください。
7) ブレードカバーは、前面カバーをはずして清掃してください。また、排水口のつまりを除去しておいてください。

【4】修理について

◎ 本製品は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、お買い求めの販売店またはコンセック各営業所にお問い合わせください。

◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

16. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
◇鍵のかからない場所
◇軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
◇温度が急変する場所
◇直射日光のあたる場所
◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

本製品に関するお問い合わせは、下記アドレスにアクセスしていただき、最寄りの支店または営業所へ直接ご連絡ください。

https://www.consec.co.jp/company/office/

右の QR コードをバーコードリーダー機能付きの携帯電話より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

CONSEC 株式会社コンセック

〒 733-0833　広島市西区商工センター４－６－８

		検 印
型式名	ＣＨＷ－５０Ａ	
製造番号		

E0892-3